平成２９年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

≪　集計結果　≫

平成３０年３月

荒　　川　　区

目　次

Ⅰ　調査概要 1

Ⅱ　回答者の属性 4

Ⅲ　集計 8

１．健康・福祉 8

（１）運動の実施 8

（２）健康的な食生活 8

（３）体の休息 9

（４）つながり 9

（５）自分の役割 10

（６）心の安らぎ 10

（７）医療の充実 11

（８）福祉の充実 11

（９）健康の実感 12

(10) 幸せにとって特に重要だと思うもの 12

２．子育て・教育 13

（１）規則正しい生活習慣 13

（２）「生きる力」の習得 13

（３）親子コミュニケーション 14

（４）家族の理解・協力 14

（５）子育て・教育環境の充実 15

（６）地域の子育てへの理解・協力 15

（７）望む子育てができる環境の充実 16

（８）子どもの成長の実感 16

（９）幸せにとって特に重要だと思うもの 17

３．産業 18

（１）生活の安定 18

（２）ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） 18

（３）仕事のやりがい 19

（４）まちの産業 19

（５）買い物の利便性 20

（６）まちの魅力 20

（７）生活のゆとり 21

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの 21

４．環境 22

（１）施設のバリアフリー 22

（２）心のバリアフリー 22

（３）交通利便性 23
（４）まちなみの良さ 23
（５）周辺環境の快適さ 24
（６）持続可能性 24
（７）生活環境の充実 25
（８）幸せにとって特に重要だと思うもの 25
５．文化 26
（１）興味・関心事への取組 26
（２）生涯学習環境の充実 26
（３）地域への愛着 27
（４）地域の人との交流の充実 27
（５）地域に頼れる人がいる実感 28
（６）文化的寛容性 28
（７）充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感 29
（８）幸せにとって特に重要だと思うもの 29
６．安全・安心 30
（１）防犯性 30
（２）交通安全性 30
（３）生活安全性 31
（４）個人の備え 31
（５）災害時の絆・助け合い 32
（６）防災性 32
（７）安全・安心の実感 33
（８）幸せにとって特に重要だと思うもの 33
７．総合 34
（１）６つの分野について幸せにとって重要だと思う順位 34
（２）幸福実感 35
８．自由記述 36
（１）幸せにとって重要だと思うこと 36
（２）不幸・不安だと感じること 38
（３）人生に影響を与えるような出来事 40
Ⅳ　調査票 45

Ⅰ　調査概要

１．調査の目的

荒川区では、だれもが幸せを実感できるまち「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピネス：ＧＡＨ）の取組を進めている。

本調査は、区民の皆様が日々の生活のなかで感じていることや地域について実感していることなどを把握し、今後の区政に資することを目的とする。

２．調査の概要

（１）アンケート項目

荒川区基本構想に定める６つの都市像に対応した「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の６つの分野ごとの区民の幸福実感及び自由記述、属性等。

（２）調査票

①調査票は冊子（日本語、英語、簡体中国語、ハングル）及び荒川区ホームページからの電子申請を利用したインターネット上（日本語）のものとした。

②総設問数は 71 問（自由記述３問、フェイスシート 15 問を含む）。

（３）調査設計及び調査方法

調査区域	荒川区全域
母集団	荒川区在住の満 18 歳以上の男女個人（荒川区住民基本台帳による）
標本数	4,000 標本
抽出方法	層化２段無作為抽出（抽出は区で実施）
調査期間	平成 29 年 9 月 4 日～平成 29 年 10 月 6 日 （期限の延長あり、当初期限は 9 月 29 日）
配布方法	郵送配布、礼状兼督促はがきの発送
回収方法	郵送回収、荒川区ホームページからの電子申請による回収

（４）回収結果

〇回収方法別

回収方法	回収数	（構成比）
郵送回収	1,546	88.3%
電子申請	200	11.4%
持参	4	0.2%
合計	1,750	100.0%

○地域別

地区名	対象人口	（構成比）	配付数	回収数	回収率
南千住	37,948	20.5%	822	355	43.2%
荒川	28,678	15.5%	620	288	46.5%
町屋	25,170	13.6%	544	225	41.4%
東尾久	24,137	13.1%	522	245	46.9%
西尾久	22,224	12.0%	481	210	43.7%
東日暮里	25,803	14.0%	558	209	37.5%
西日暮里	20,958	11.3%	453	186	41.1%
無回答	－	－	－	32	－
合計	184,918	100.0%	4,000	1,750	43.8%

※対象人口（18 歳以上の区民）は、平成 29 年 7 月 1 日時点のものです。

○年齢別

年　代	対象人口	（構成比）	配付数	回収数	回収率
18･19 歳	3,547	1.9%	76	22	28.9%
20 代	27,620	14.9%	567	119	21.0%
30 代	32,518	17.6%	677	266	39.3%
40 代	34,895	18.9%	752	266	35.4%
50 代	25,242	13.7%	578	278	48.1%
60 代	25,311	13.7%	561	325	57.9%
70 代	20,717	11.2%	454	282	62.1%
80 代以上	15,068	8.1%	335	168	50.1%
無回答	－	－	－	24	－
合計	184,918	100.0%	4000	1,750	43.8%

※対象人口（18 歳以上の区民）は、平成 29 年 7 月 1 日時点のものです。

（５）本調査結果報告書の留意点

①比率は百分率（%）で表し、小数点以下２位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100%を上下する場合もある。

②回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出している。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがある。

③この調査の標本誤差は、おおよそ下記のとおりである。標本誤差は次表によって得られ、比率算出の基数（n）及び回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。ただし、信頼度は 95%とする。

標本誤差
（2段階抽出）

$$= 2\sqrt{2\times\frac{N-n}{N-1}\times\frac{p\ (1-p)}{n}}$$

N＝母集団数
n＝比率算出の基数
p＝回答の比率

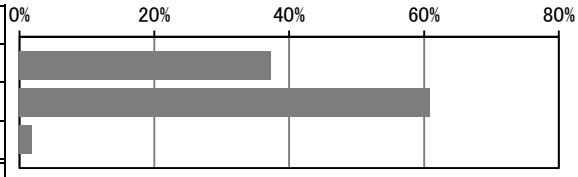
基数(n) ＼ 回答の比率(p)	90%または10%前後	80%または20%前後	70%または30%前後	60%または40%前後	50%前後
1,750	±2.0%	±2.7%	±3.1%	±3.3%	±3.4%
1,700	±2.1%	±2.7%	±3.1%	±3.4%	±3.4%
1,300	±2.4%	±3.1%	±3.6%	±3.8%	±3.9%
900	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

（注）1. 表は $\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ として計算した。
2. 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。
3. この表の見方は次のとおりである。
ある設問の回答者が 1,750 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 80%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.7%の範囲内（77.3%～82.7%）である。

Ⅱ　回答者の属性

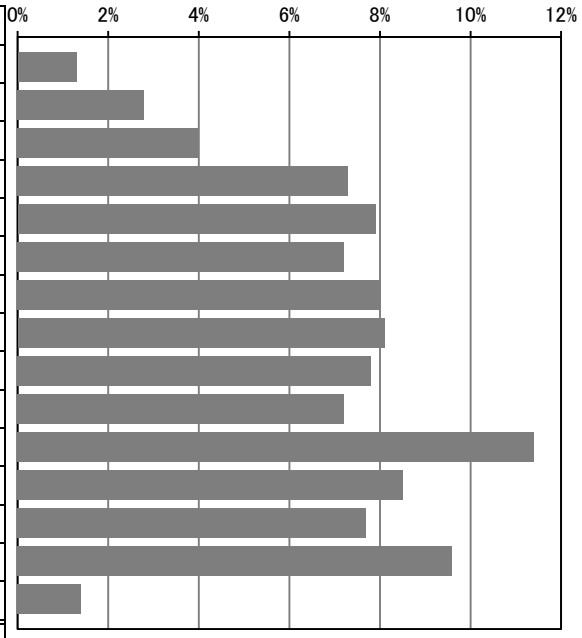
（１）性別

項目	人	構成比
男性	652	37.3%
女性	1,064	60.8%
無回答	34	1.9%
全体	1,750	100.0%



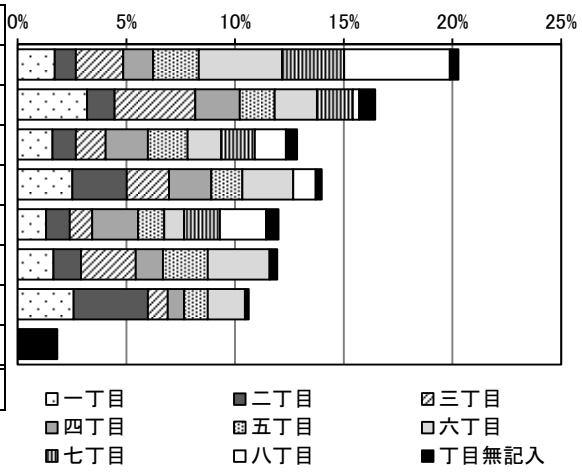
（２）年代

項目	人	構成比
18・19 歳	22	1.3%
20～24 歳	49	2.8%
25～29 歳	70	4.0%
30～34 歳	127	7.3%
35～39 歳	139	7.9%
40～44 歳	126	7.2%
45～49 歳	140	8.0%
50～54 歳	141	8.1%
55～59 歳	137	7.8%
60～64 歳	126	7.2%
65～69 歳	199	11.4%
70～74 歳	148	8.5%
75～79 歳	134	7.7%
80 歳以上	168	9.6%
無回答	24	1.4%
全体	1,750	100.0%



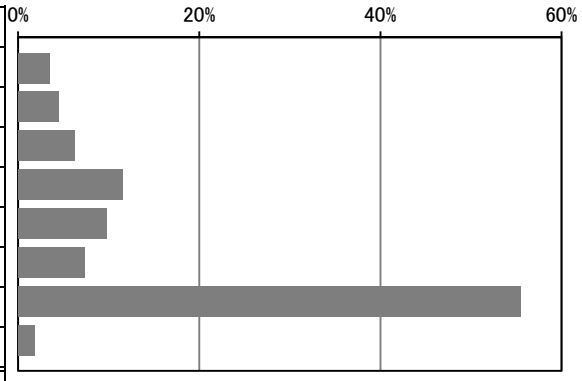
（３）居住地域

項目	人	構成比
南千住	355	20.3%
荒川	288	16.5%
町屋	225	12.9%
東尾久	245	14.0%
西尾久	210	12.0%
東日暮里	209	11.9%
西日暮里	186	10.6%
無回答	32	1.8%
全体	1,750	100.0%



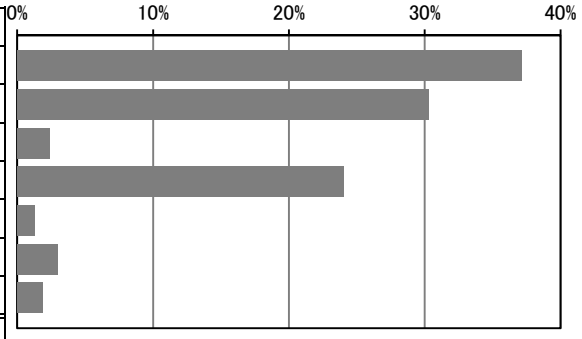
（４）居住年数

項目	人	構成比
１年未満	60	3.4%
１～２年	79	4.5%
３～４年	108	6.2%
５～９年	202	11.5%
10～14 年	170	9.7%
15～19 年	127	7.3%
20 年以上	972	55.5%
無回答	32	1.8%
全体	1,750	100.0%



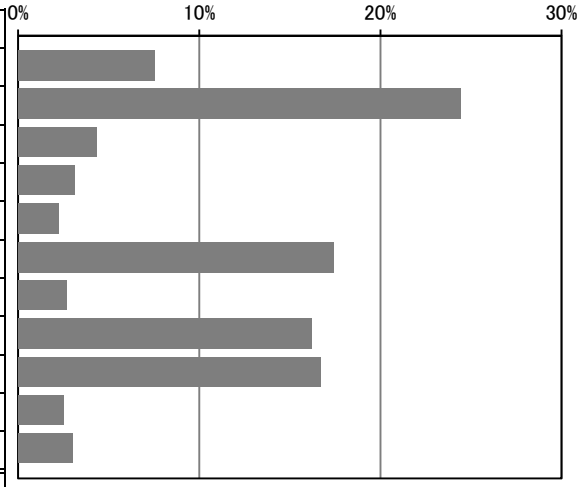
（５）居住形態

項目	人	構成比
持ち家（一戸建て）	649	37.1%
持ち家（集合住宅）	530	30.3%
借家（一戸建て）	42	2.4%
借家（集合住宅）	420	24.0%
寮・社宅	23	1.3%
その他	52	3.0%
無回答	34	1.9%
全体	1,750	100.0%



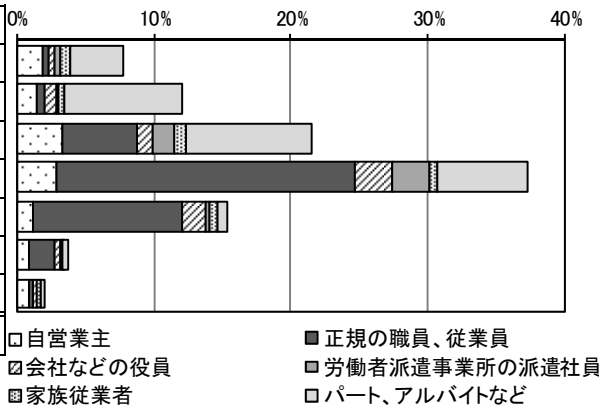
（６）職業（複数の職がある場合は、主となる方を選択）

項目	人	構成比
自営業主	131	7.5%
正規の職員、従業員	427	24.4%
会社などの役員	76	4.3%
労働者派遣事業所の派遣社員	54	3.1%
家族従業者	38	2.2%
パート、アルバイトなど	304	17.4%
学生	47	2.7%
専業主婦、専業主夫	284	16.2%
無職	292	16.7%
その他	44	2.5%
無回答	53	3.0%
全体	1,750	100.0%



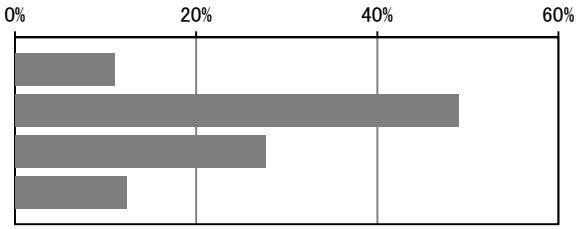
（７）平均的な就業時間（休憩時間は除き、残業時間は含む）

項目	人	構成比
４時間未満	80	7.8%
４～５時間	125	12.1%
６～７時間	222	21.6%
８～９時間	384	37.3%
10～11 時間	158	15.3%
12 時間以上	39	3.8%
無回答	22	2.1%
全体	1,030	100.0%



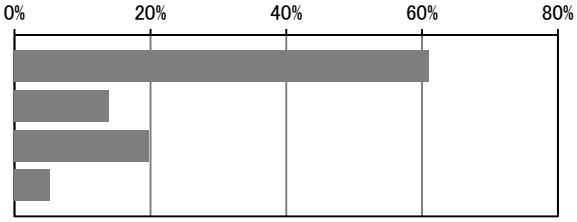
（８）無職の方の現状

項目	人	構成比
仕事を探している	32	11.0%
仕事を探していない	143	49.0%
その他	81	27.7%
無回答	36	12.3%
全体	292	100.0%



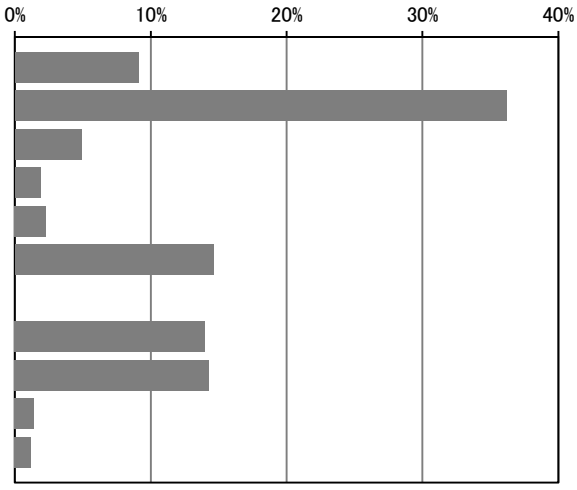
（９）配偶者の有無

項目	人	構成比
現在、配偶者がいる（届出の有無に関わらず）	1,068	61.0%
結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない	244	13.9%
結婚したことはない	347	19.8%
無回答	91	5.2%
全体	1,750	100.0%



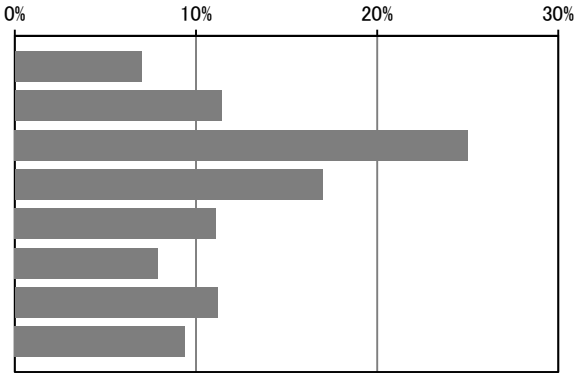
（10）配偶者の職業（複数の職がある場合は、主となる方を選択）

項目	人	構成比
自営業主	97	9.1%
正規の職員、従業員	387	36.2%
会社などの役員	52	4.9%
労働者派遣事業所の派遣社員	20	1.9%
家族従業者	25	2.3%
パート、アルバイトなど	156	14.6%
学生	0	0.0%
専業主婦、専業主夫	150	14.0%
無職	153	14.3%
その他	15	1.4%
無回答	13	1.2%
全体	1,068	100.0%



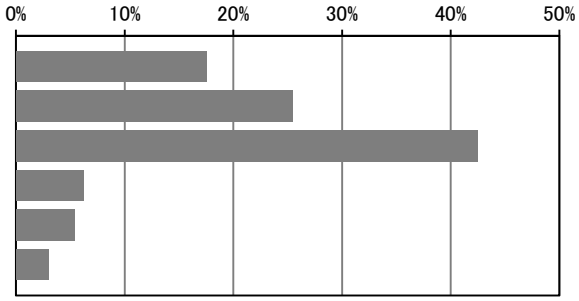
（11）世帯全体の年間収入

項目	人	構成比
100 万円未満	123	7.0%
100 万円以上 200 万円未満	199	11.4%
200 万円以上 400 万円未満	438	25.0%
400 万円以上 600 万円未満	297	17.0%
600 万円以上 800 万円未満	194	11.1%
800 万円以上 1,000 万円未満	138	7.9%
1,000 万円以上	196	11.2%
無回答	165	9.4%
全体	1,750	100.0%



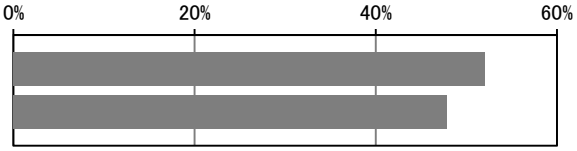
(12) 家族構成

項目	人	構成比
一人暮らし	306	17.5%
夫婦のみ	445	25.4%
親・子（二世代家族）	744	42.5%
親・子・孫（三世代家族）	108	6.2%
その他	94	5.4%
無回答	53	3.0%
全体	1,750	100.0%



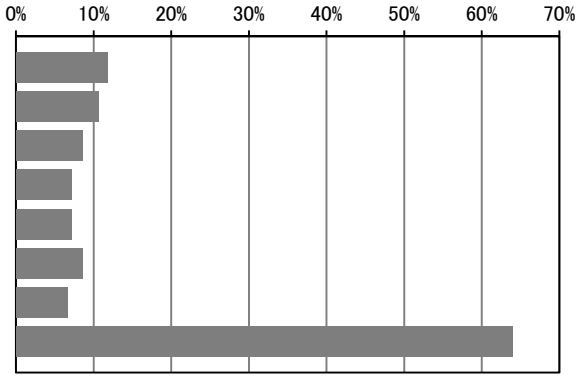
(13) 子どもの有無

項目	人	構成比
あり	912	52.1%
なし（無回答を含む）	838	47.9%
全体	1,750	100.0%



(14) 子どもの年齢(複数回答)

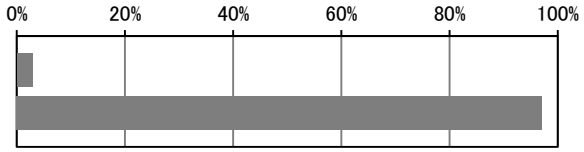
項目	人	構成比
0～2 歳	108	11.8%
3～5 歳	97	10.6%
6～8 歳	78	8.6%
9～11 歳	65	7.1%
12～14 歳	65	7.1%
15～17 歳	78	8.6%
18～19 歳	60	6.6%
20 歳以上	583	63.9%
全体	1,134	－



※構成比の分母は子どものいる 912 名

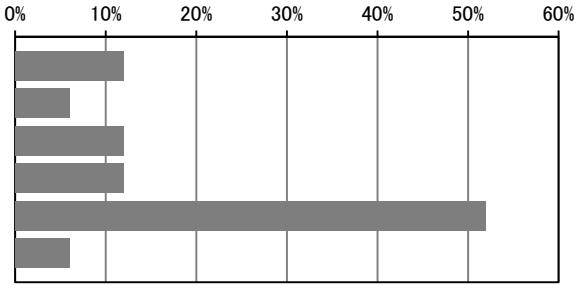
(15) 外国籍

項目	人	構成比
外国籍である	50	2.9%
無回答	1,700	97.1%
全体	1,750	100.0%



(16) 日本での居住年数

項目	人	構成比
１年未満	6	12.0%
１～２年	3	6.0%
３～４年	6	12.0%
５～９年	6	12.0%
10 年以上	26	52.0%
無回答	3	6.0%
全体	50	100.0%

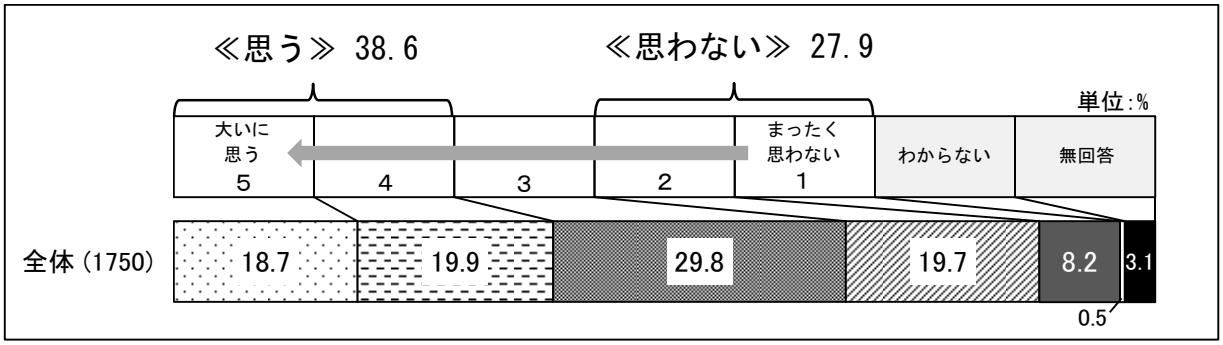


Ⅲ　集計

１．健康・福祉

（１）運動の実施

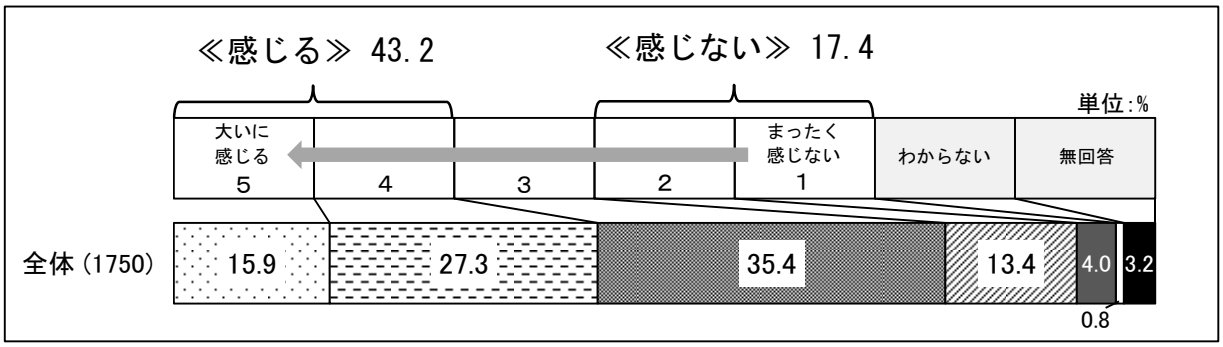
問１（１）体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？
※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含みます。



体を動かしたり運動したりすることができていると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 38.6％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 27.9％を上回る。

（２）健康的な食生活

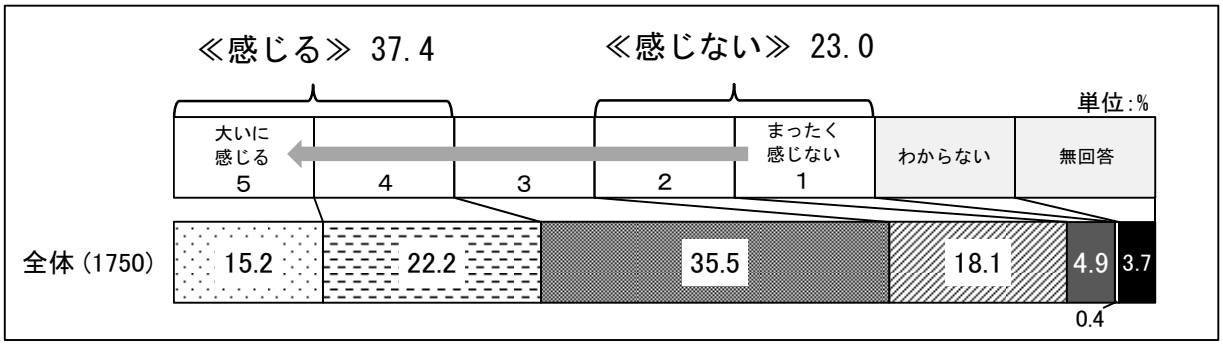
問１（２）健康的な食生活を送ることができていると感じますか？



健康的な食生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 43.2％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 17.4％を上回る。

（３）体の休息

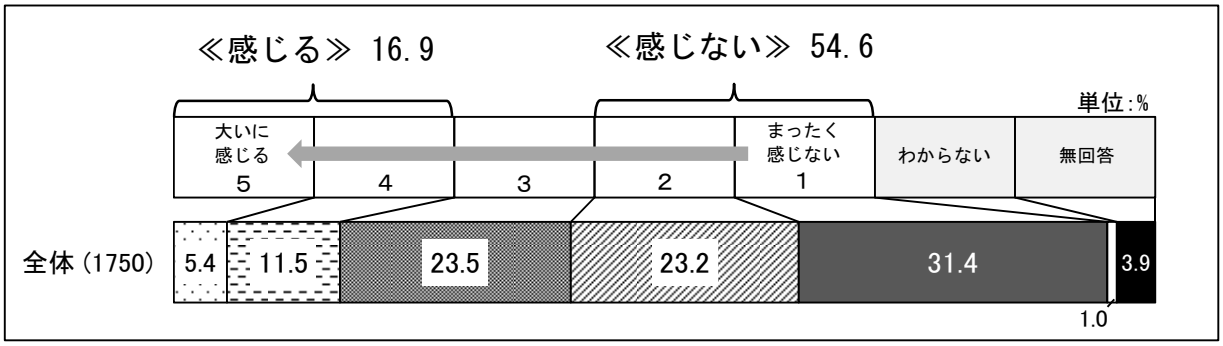
問１（３）体を休めることができていると感じますか？



体を休めることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 37.4％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 23.0％を上回る。

（４）つながり

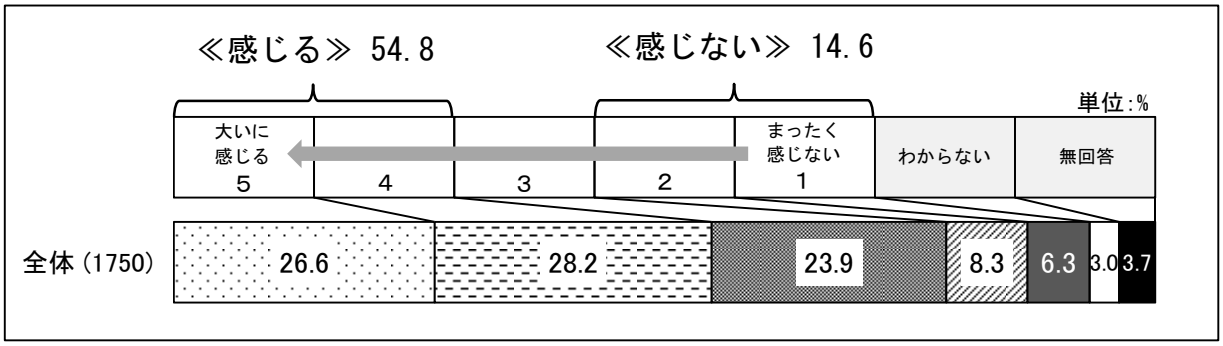
問１（４）孤立感や孤独感を感じますか？



孤立感や孤独感を感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 54.6％と５割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 16.9％を上回る。

（５）自分の役割

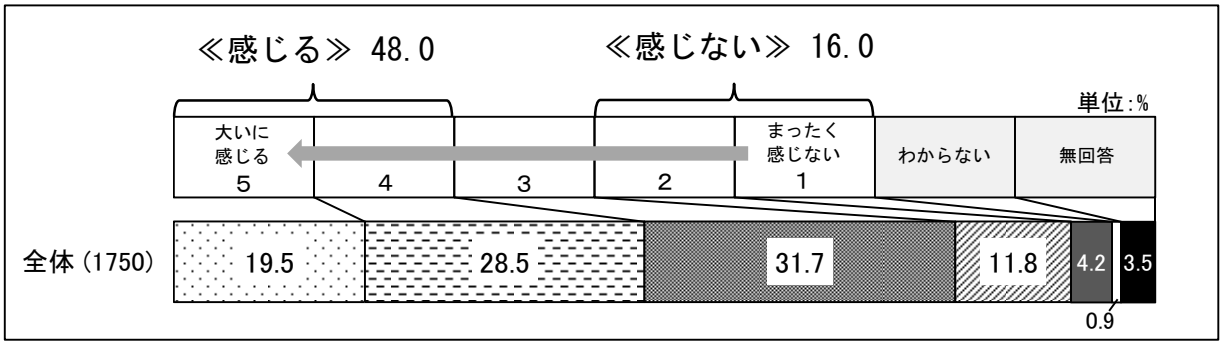
問１（５）家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？



家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 54.8％と５割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 14.6％を上回る。

（６）心の安らぎ

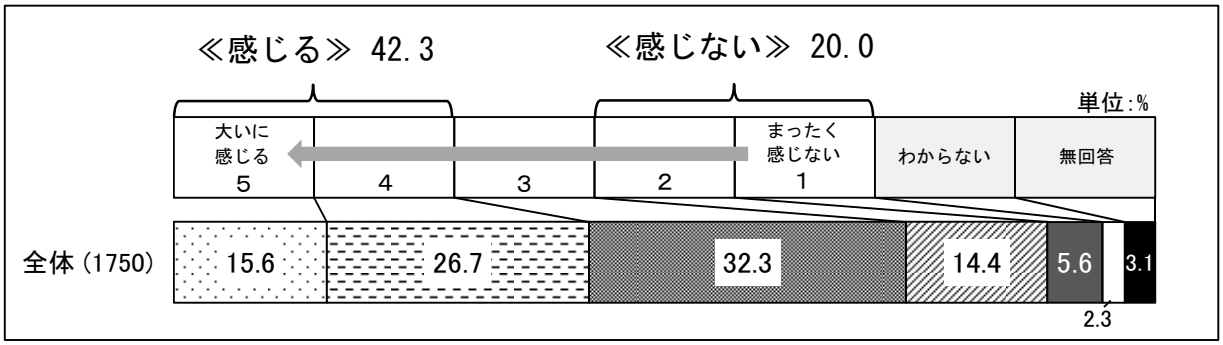
問１（６）心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？



心が安らぐ時間を持つことができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 48.0％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 16.0％を上回る。

（７）医療の充実

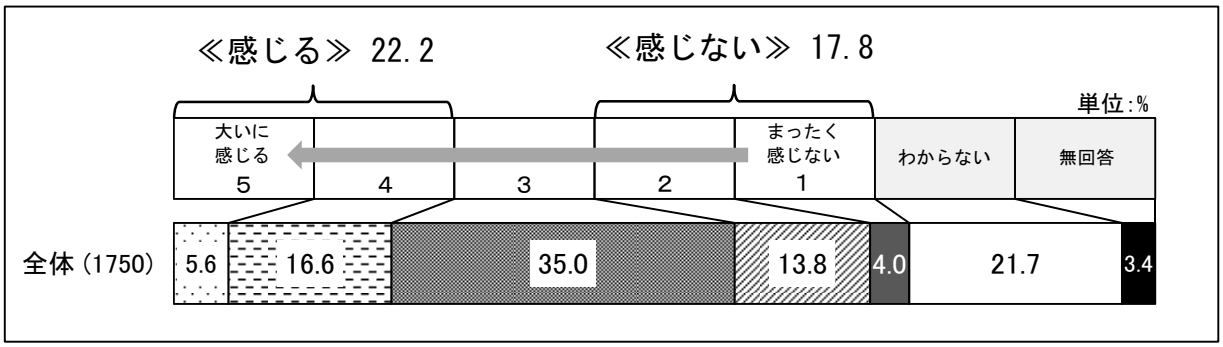
問１（７）お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？



お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関が充実していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 42.3％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 20.0％を上回る。

（８）福祉の充実

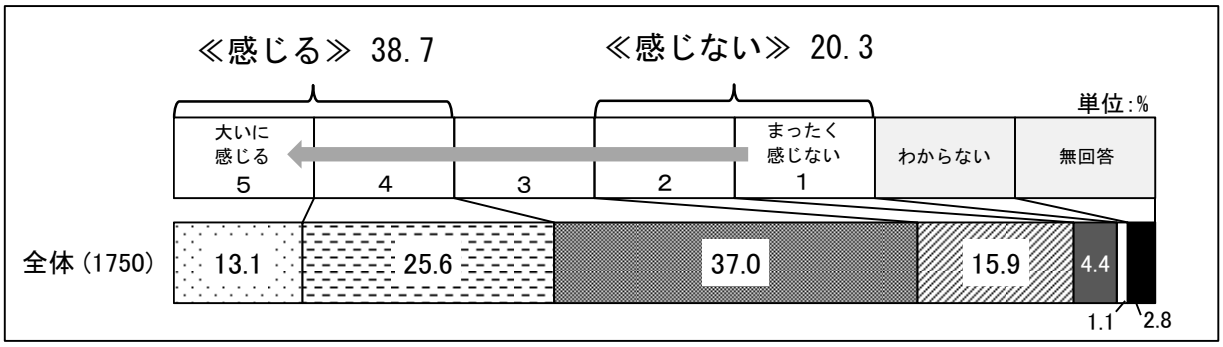
問１（８）お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の数や福祉サービスの質の充実などを指します。



お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 22.2％と約２割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 17.8％を上回る。

（９）健康の実感

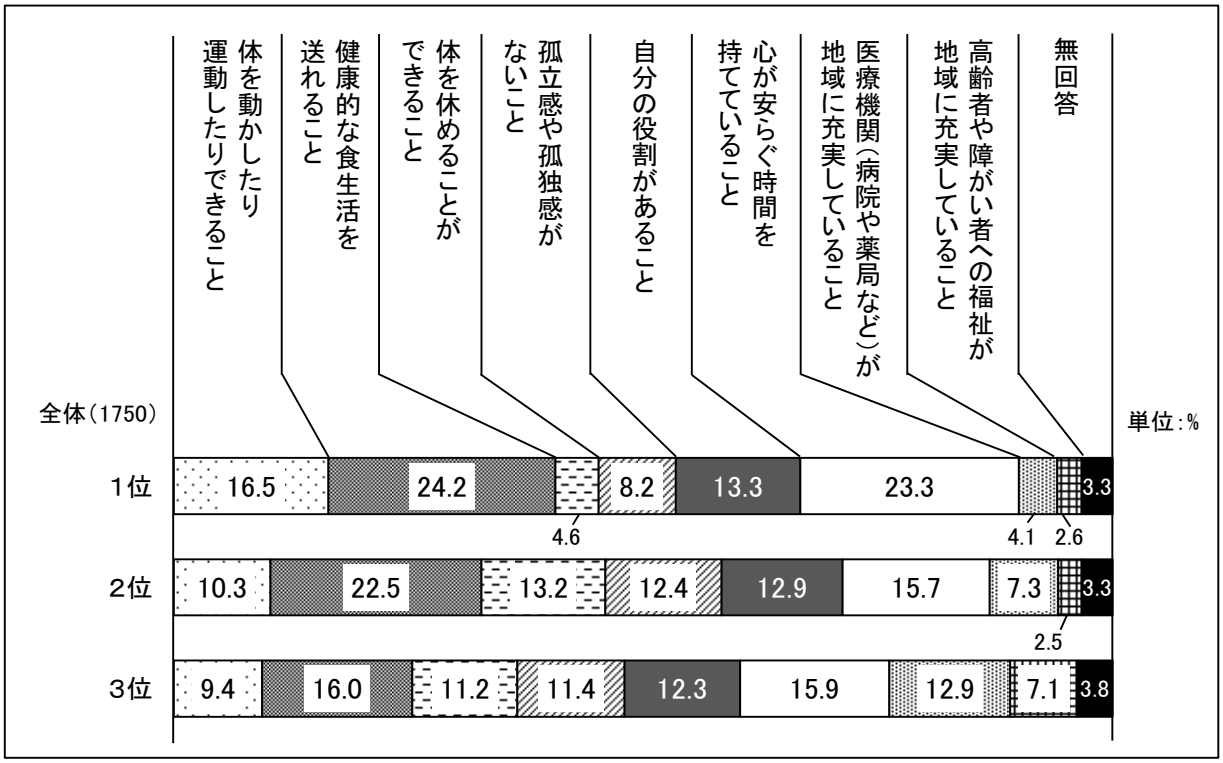
問１（９）心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？



心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 38.7％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 20.3％を上回る。

(10) 幸せにとって特に重要だと思うもの

問２　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。



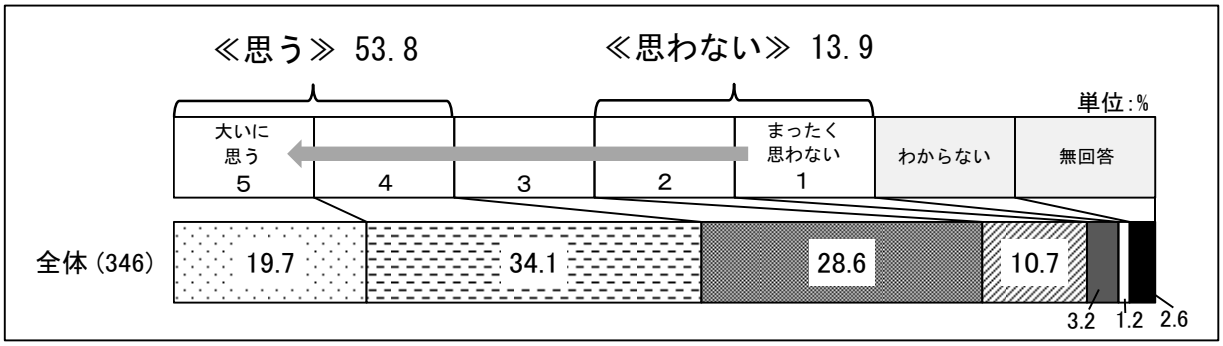
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が 24.2％で最も高く、次いで「心が安らぐ時間を持てていること」（23.3％）が続く。また、第２位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が 22.5％で最も高く、第３位として選択した項目も「健康的な食生活を送れること」が 16.0％で最も高い結果となった。

２．子育て・教育

※子育て・教育分野は 18 歳未満のお子さん（同居・別居問わず）がいる方のみ回答

（１）規則正しい生活習慣

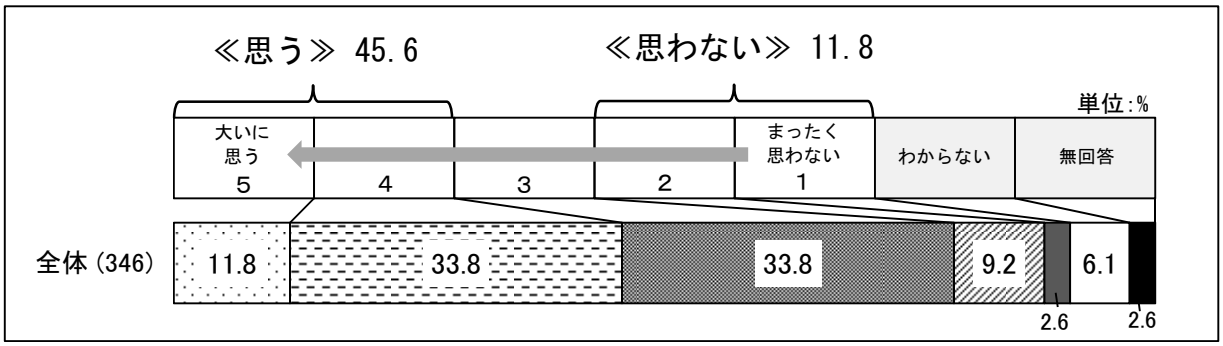
問３（１）お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか？



お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 53.8％と５割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 13.9％を上回る。

（２）「生きる力」の習得

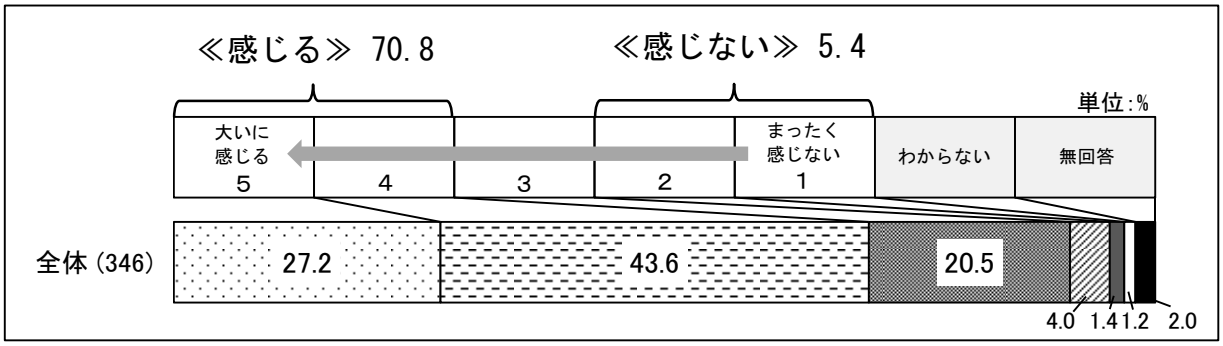
問３（２）お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？



お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 45.6％と４割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 11.8％を上回る。

（３）親子コミュニケーション

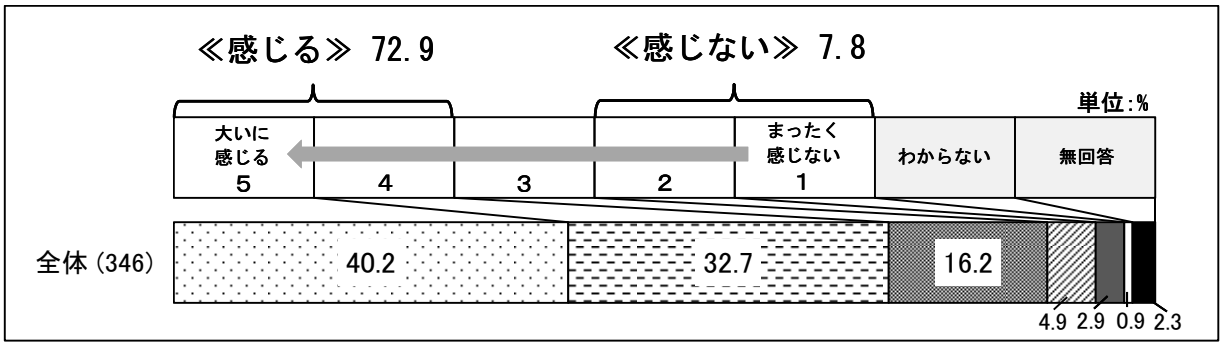
問３（３）親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？



親子の間でコミュニケーションがとれていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 70.8％と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 5.4％を上回る。

（４）家族の理解・協力

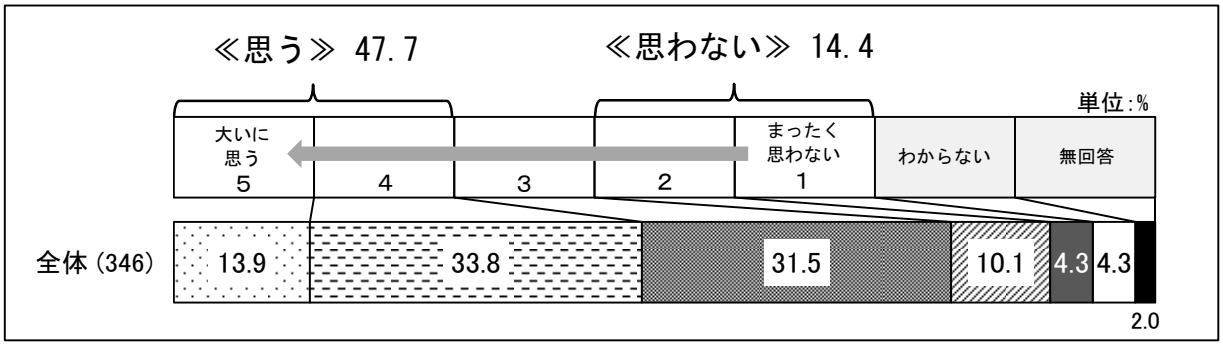
問３（４）あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？
※ここでの家族には、配偶者、ご自身及び配偶者の親、親類などを含み、同居しているか否かは問いません。



あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 72.9％と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 7.8％を上回る。

（５）子育て・教育環境の充実

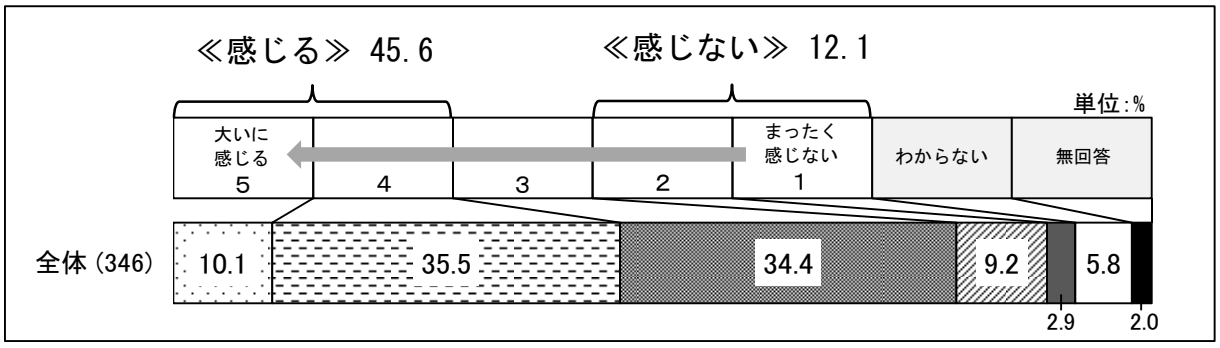
問３（５）お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？



お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 47.7％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 14.4％を上回る。

（６）地域の子育てへの理解・協力

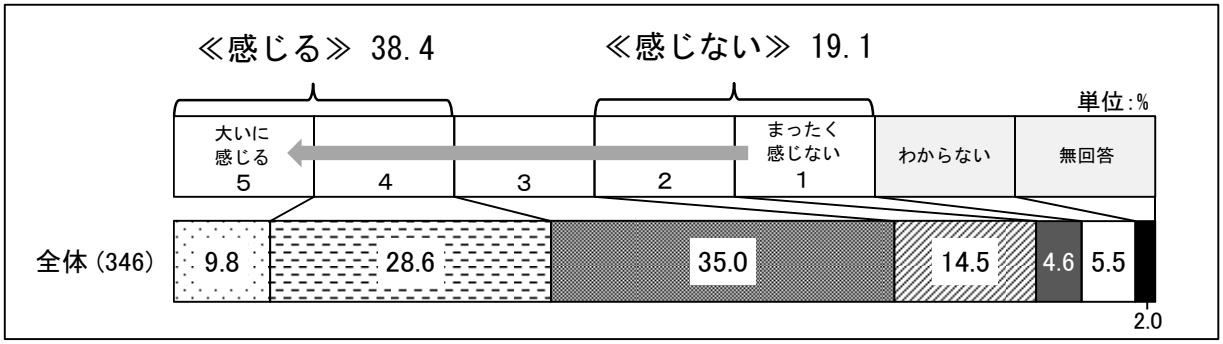
問３（６）お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？



お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 45.6％と４割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 12.1％を上回る。

（７）望む子育てができる環境の充実

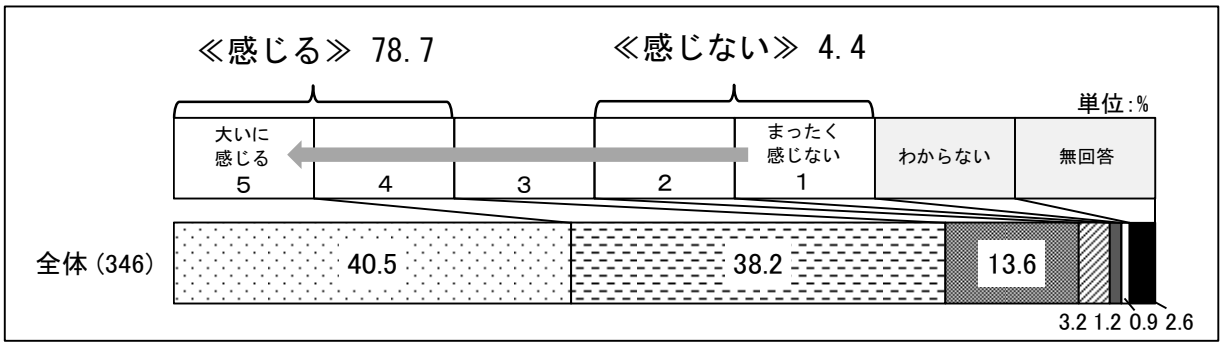
問３（７）自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？
※ここでの環境には、子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含みます。



自分が望む子育てができるような環境があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 38.4％と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 19.1％を上回る。

（８）子どもの成長の実感

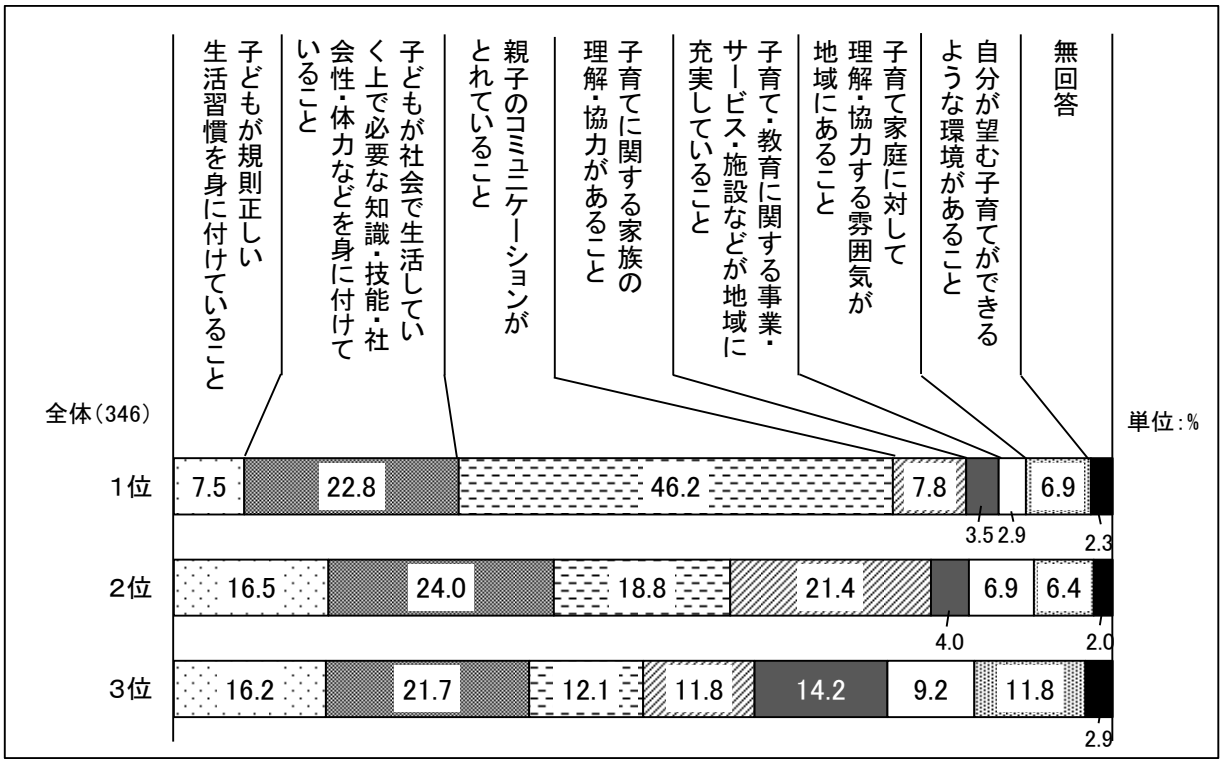
問３（８）お子さんが健やかに成長していると感じますか？



お子さんが健やかに成長していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 78.7％と約８割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 4.4％を上回る。

（９）幸せにとって特に重要だと思うもの

問４　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。

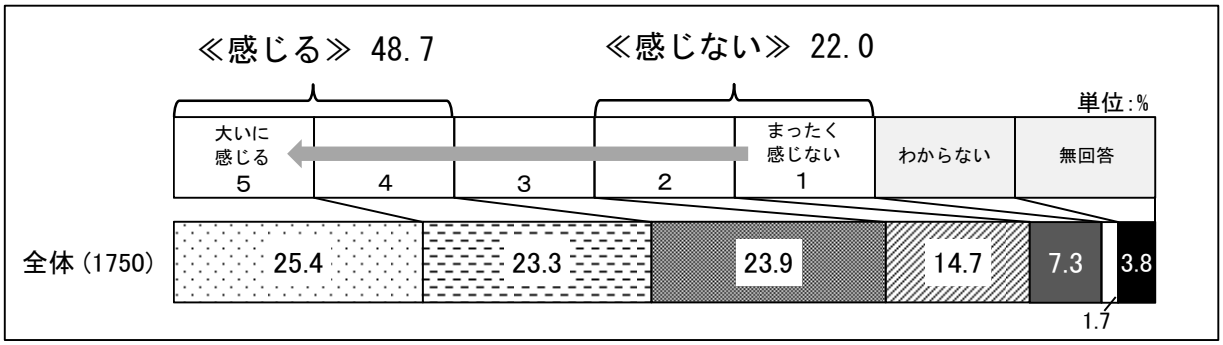


あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「親子のコミュニケーションがとれていること」が 46.2%で最も高く、次いで「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」（22.8%）が続く。また、第２位として選択した項目は「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が 24.0%で最も高く、第３位として選択した項目も「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が 21.7%で最も高い結果となった。

３．産業

（１）生活の安定

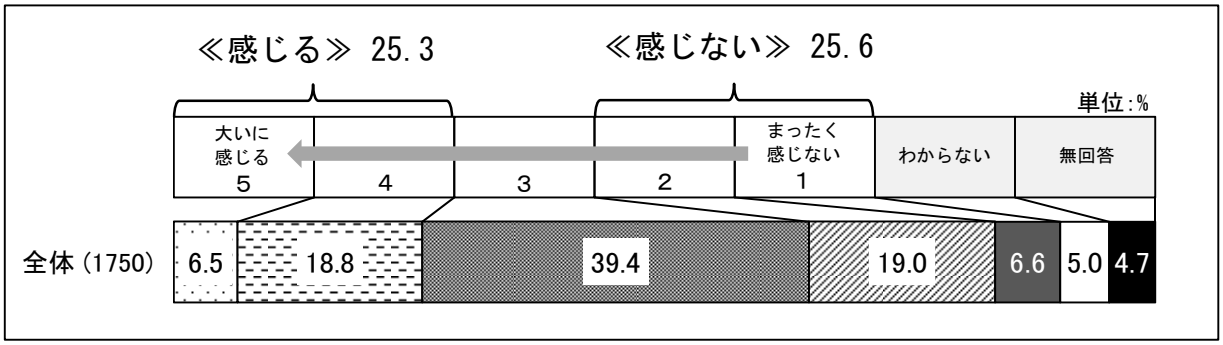
問５（１）生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？



生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 48.7％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 22.0％を上回る。

（２）ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

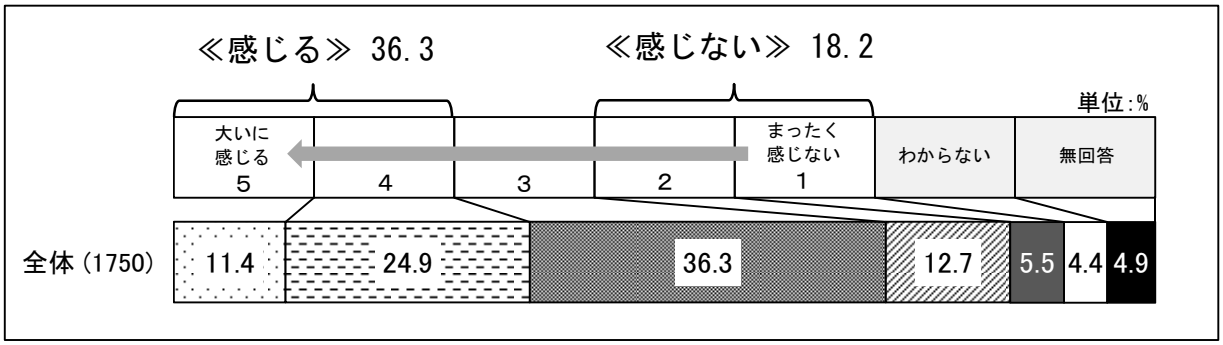
問５（２）仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？
※専業の主婦･主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。



仕事と生活とのバランスが取れていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫が 25.6％となっており、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 25.3％とほぼ同様の回答率となっている。

（３）仕事のやりがい

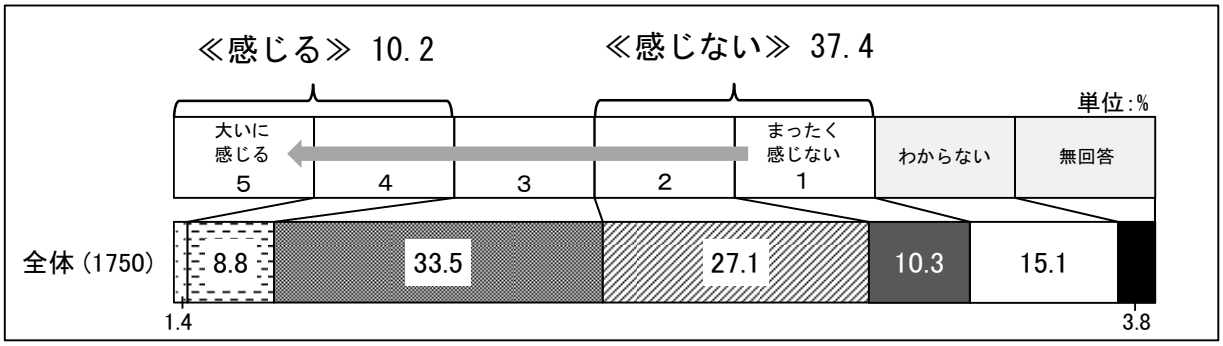
問５（３）仕事に、やりがいや充実感を感じますか？
※専業の主婦･主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。



仕事に、やりがいや充実感を感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は36.3%と３割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の18.2%を上回る。

（４）まちの産業

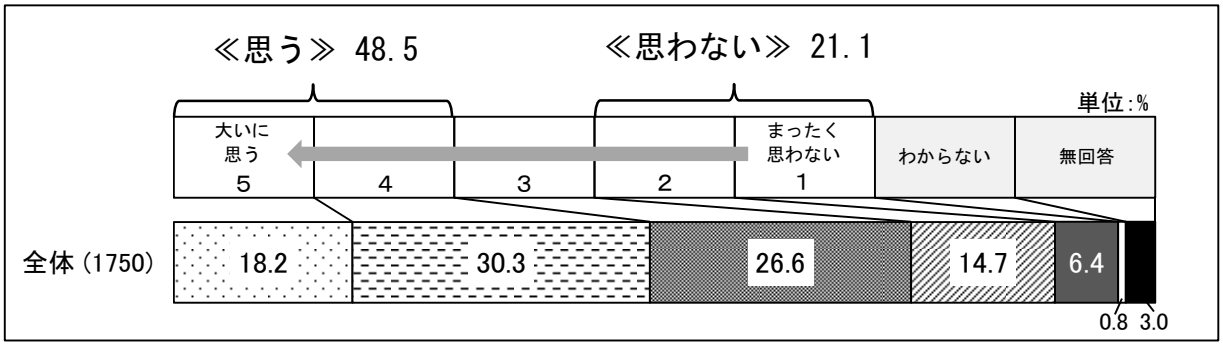
問５（４）荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？



荒川区の企業は元気で活力があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は37.4%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の10.2%を上回る。

（５）買い物の利便性

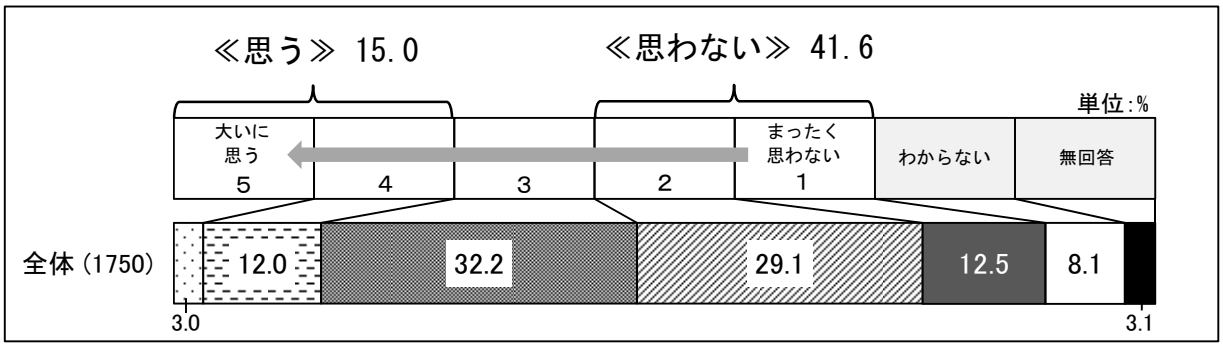
問５（５）お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？



お住まいの地域での買い物が便利だと思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 48.5％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 21.1％を上回る。

（６）まちの魅力

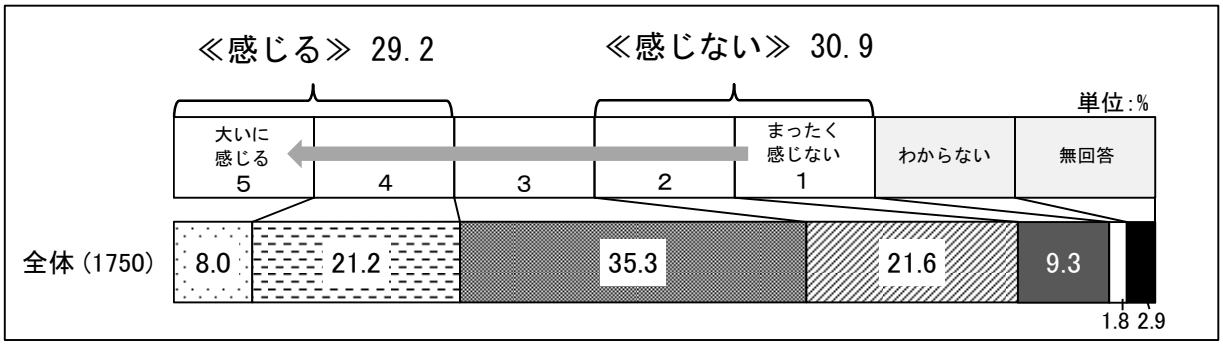
問５（６）荒川区は、区外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか？



荒川区は、区外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思うか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫は 41.6％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪思う≫の 15.0％を上回る。

（７）生活のゆとり

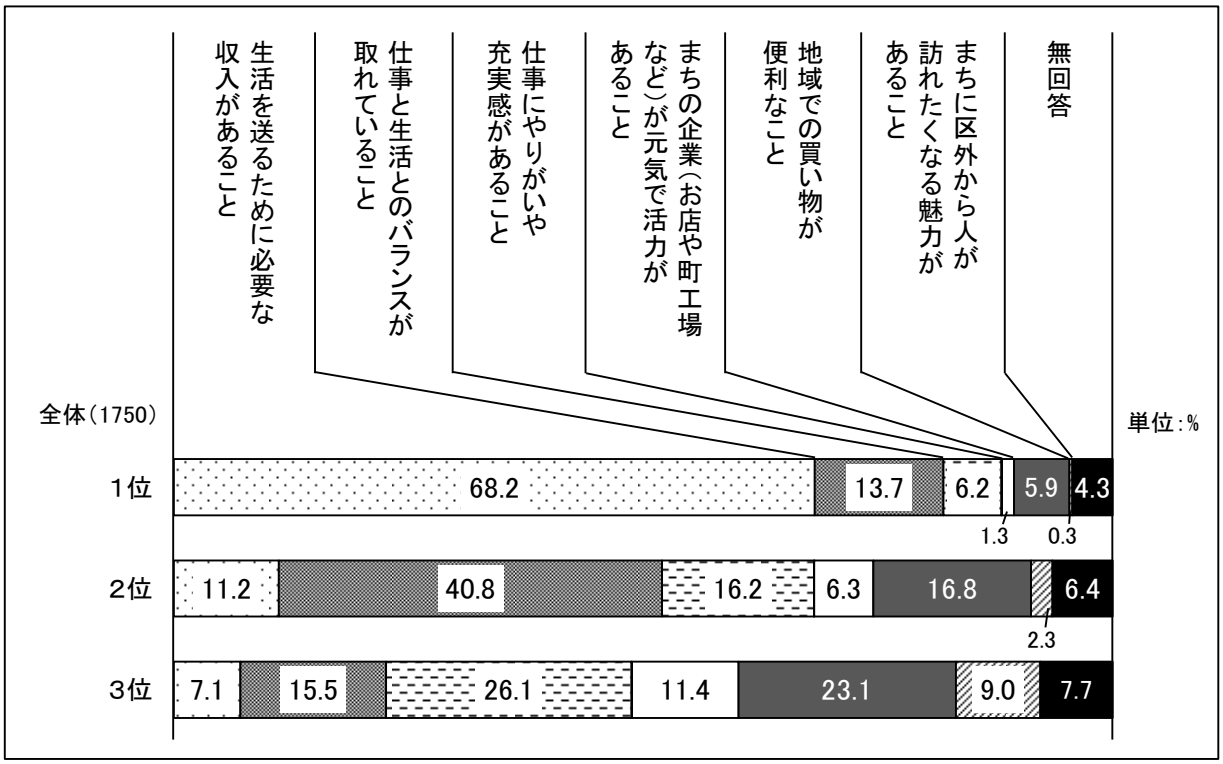
問５（７）経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？



経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 30.9%となっており、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 29.2%とほぼ同様の回答率となっている。

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの

問６　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。

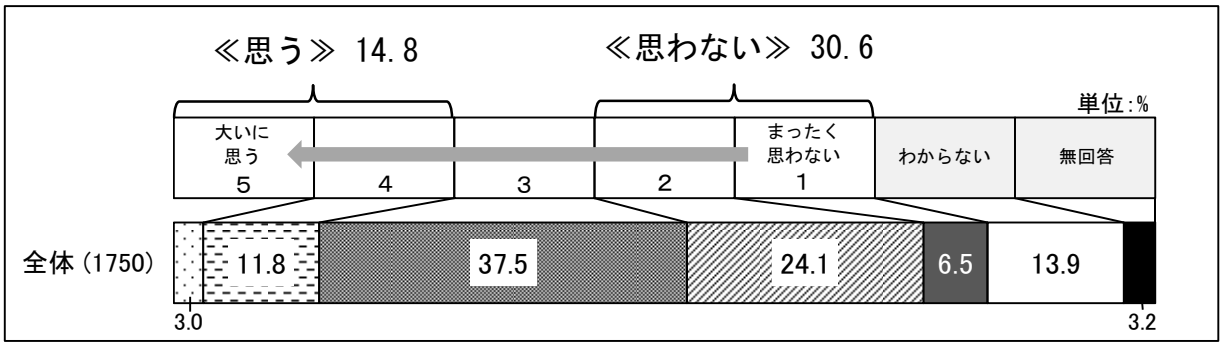


あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「生活を送るために必要な収入があること」が 68.2%で最も高く、次いで「仕事と生活とのバランスが取れていること」（13.7%）が続く。また、第２位として選択した項目は「仕事と生活とのバランスが取れていること」が 40.8%で最も高く、第３位として選択した項目は「仕事にやりがいや充実感があること」が 26.1%で最も高い結果となった。

４．環境

（１）施設のバリアフリー

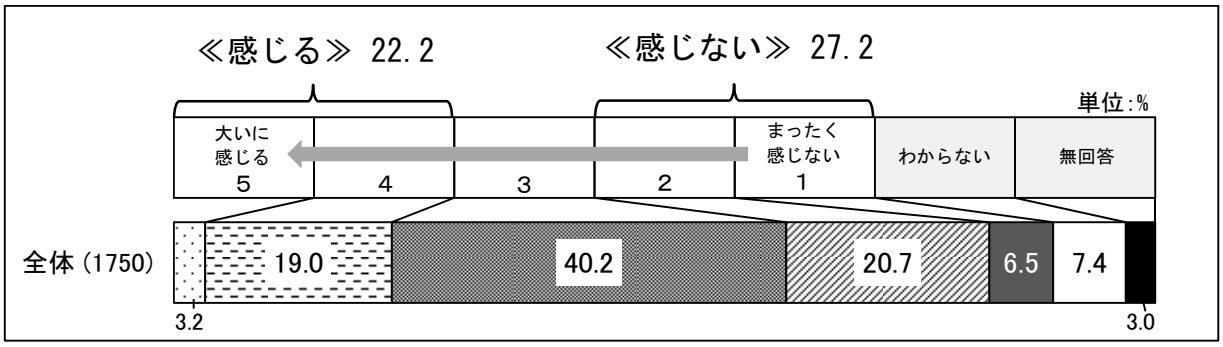
問７（１）お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？
※バリアフリーとは、障がい者や高齢者が生活をする上で支障がないよう、建物の段差等を解消することを指します。



お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思うか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫は 30.6％と約３割を占め、「５」と「４」を合わせた≪思う≫の 14.8％を上回る。

（２）心のバリアフリー

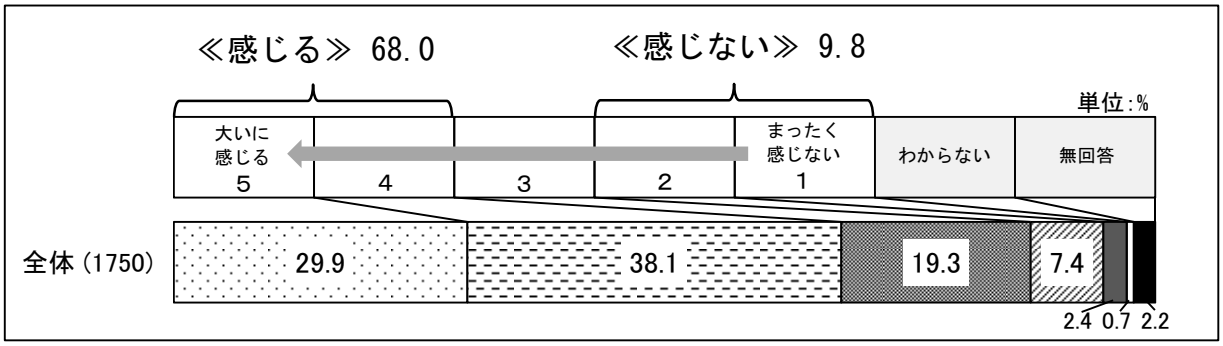
問７（２）お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？



お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 27.2％と約３割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 22.2％を上回る。

（３）交通利便性

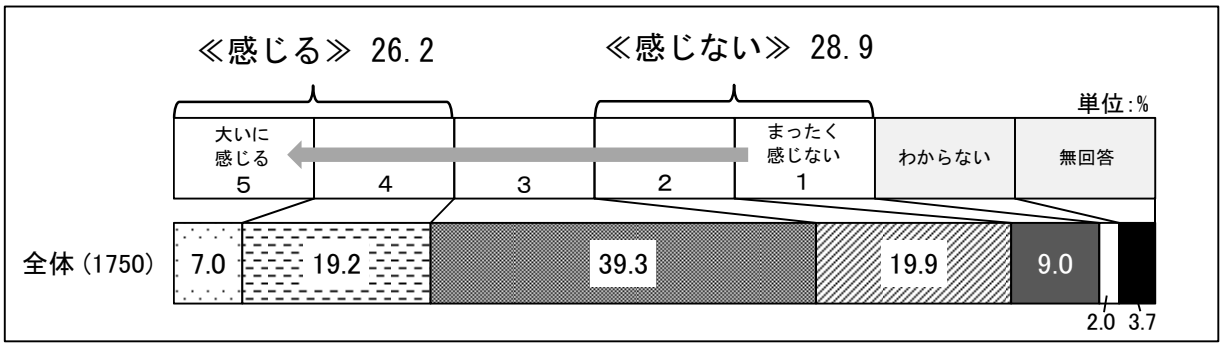
問７（３）お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？
※ここでの交通には、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含みます。



お住まいの地域は交通の便が良いと感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 68.0％と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 9.8％を上回る。

（４）まちなみの良さ

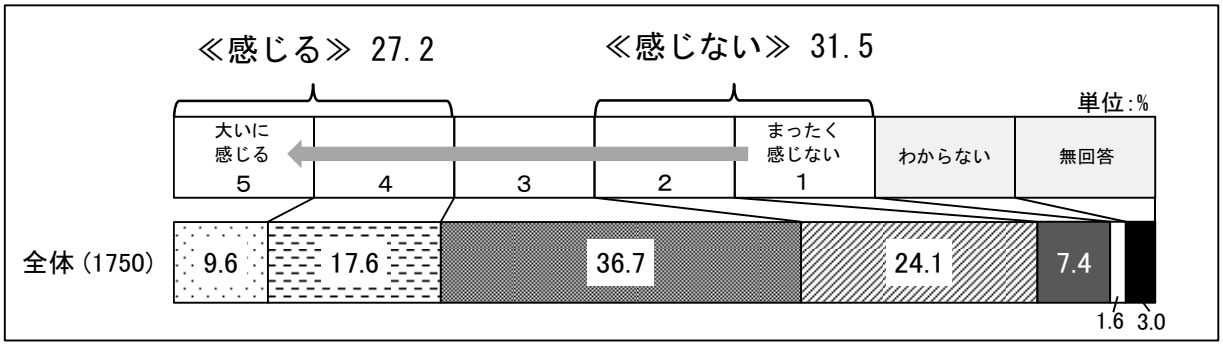
問７（４）お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？



お住まいの地域のまちなみは良いと感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 28.9％となっており、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 26.2％とほぼ同様の回答率となっている。

（５）周辺環境の快適さ

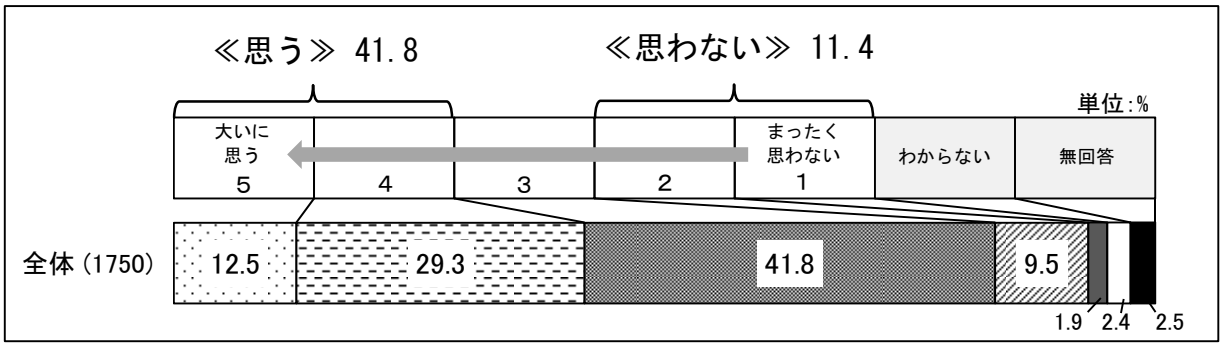
問７（５）お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
※ここでの不快さには、放置自転車、ポイ捨てなどを含みます。



お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 31.5%と約３割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 27.2%を上回る。

（６）持続可能性

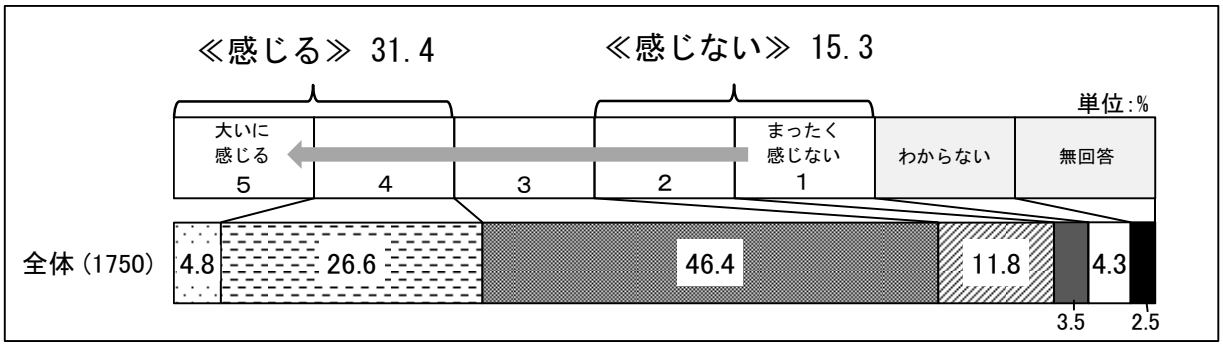
問７（６）あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？



節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪思う≫は 41.8%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた≪思わない≫の 11.4%を上回る。

（７）生活環境の充実

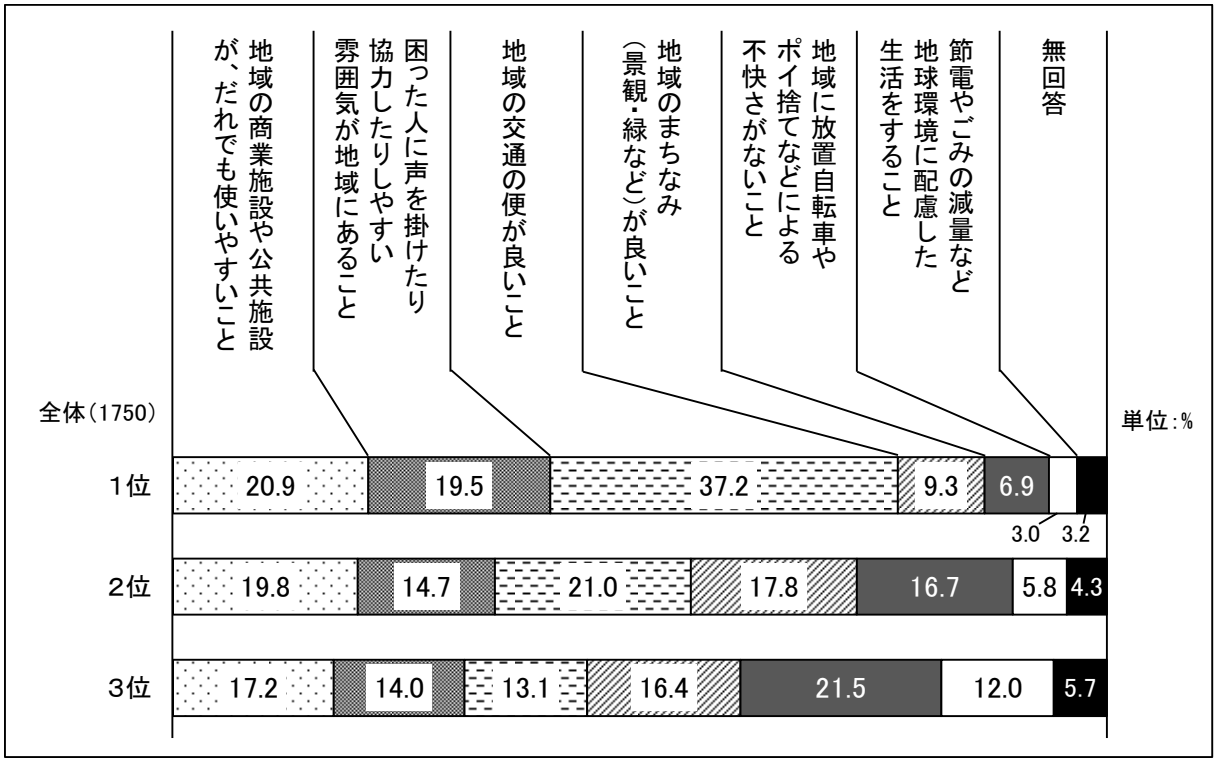
問７（７）お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？



お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 31.4％と約３割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 15.3％を上回る。

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの

問８　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。

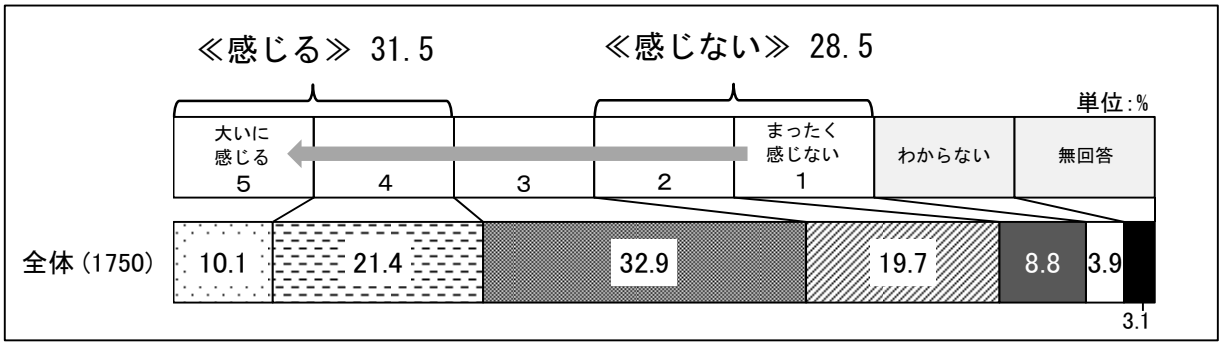


あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「地域の交通の便が良いこと」が 37.2％で最も高く、次いで「地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと」（20.9％）が続く。また、第２位として選択した項目も「地域の交通の便が良いこと」が 21.0％で最も高く、第３位として選択した項目は「地域に放置自転車やポイ捨てなどによる不快さがないこと」が 21.5％で最も高い結果となった。

５．文化

（１）興味・関心事への取組

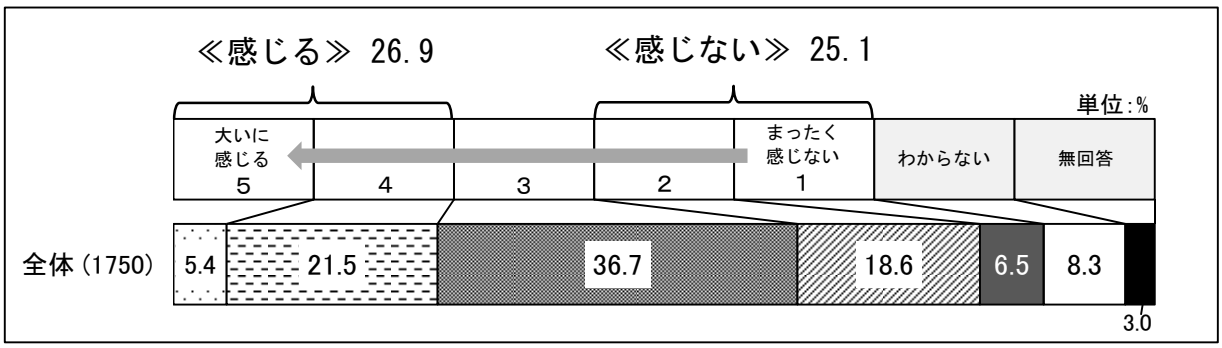
問９（１）興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？



興味・関心のあることに取り組むことができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 31.5%となっており、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 28.5%とほぼ同様の回答率となっている。

（２）生涯学習環境の充実

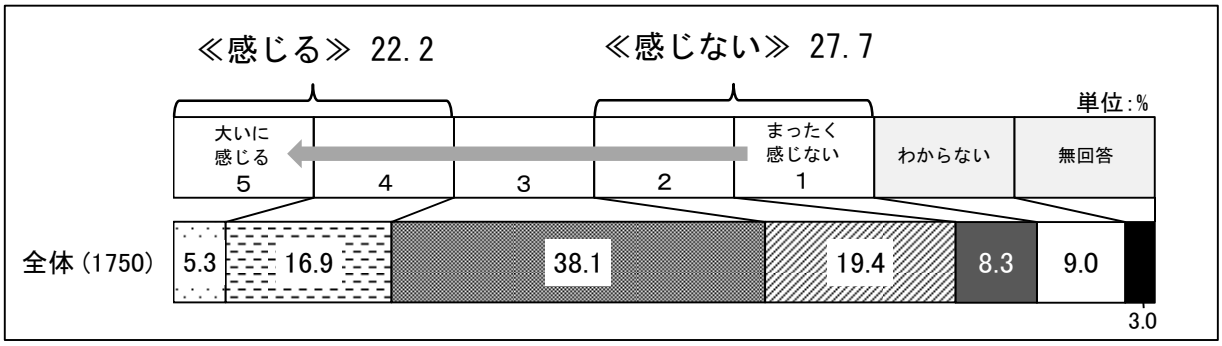
問９（２）生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？
※生涯にわたって学習できる環境とは、図書館や学習施設、スポーツ施設など、だれもが利用できる施設が整備され、学びやスポーツなどができるような環境のことを指します。



生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 26.9%となっており、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 25.1%とほぼ同様の回答率となっている。

（３）地域への愛着

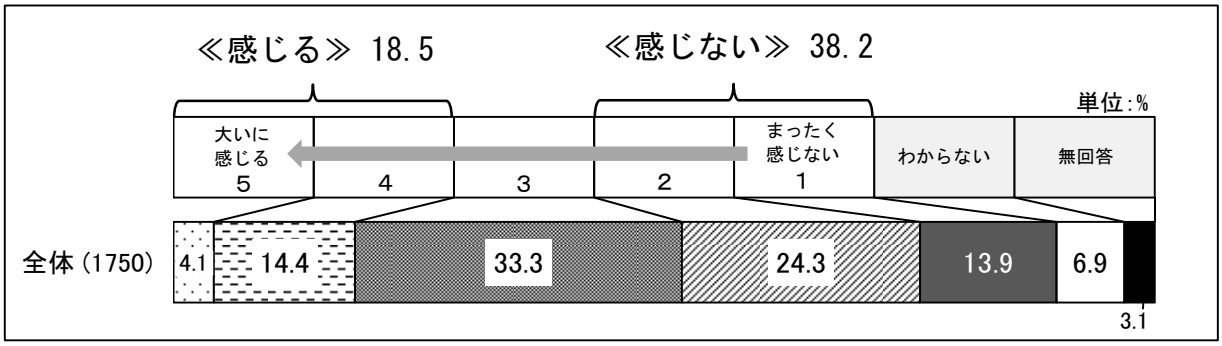
問９（３）荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？



荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 27.7％と約３割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 22.2％を上回る。

（４）地域の人との交流の充実

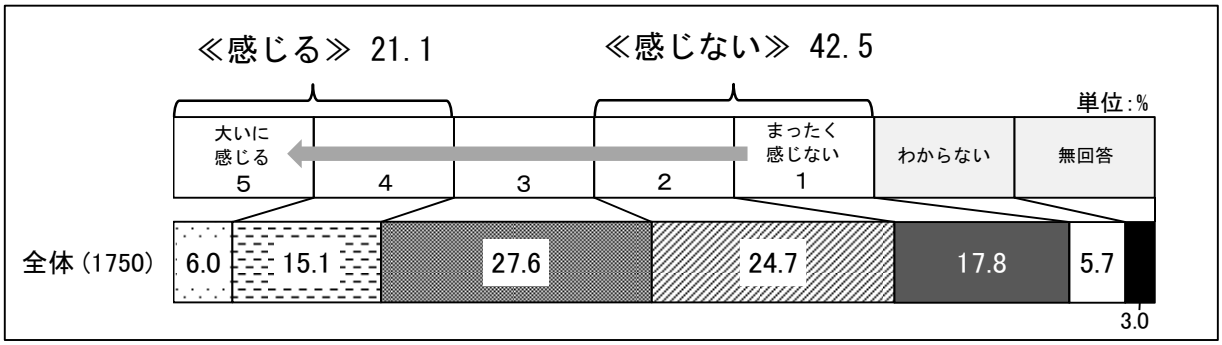
問９（４）お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？



お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 38.2％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 18.5％を上回る。

（５）地域に頼れる人がいる実感

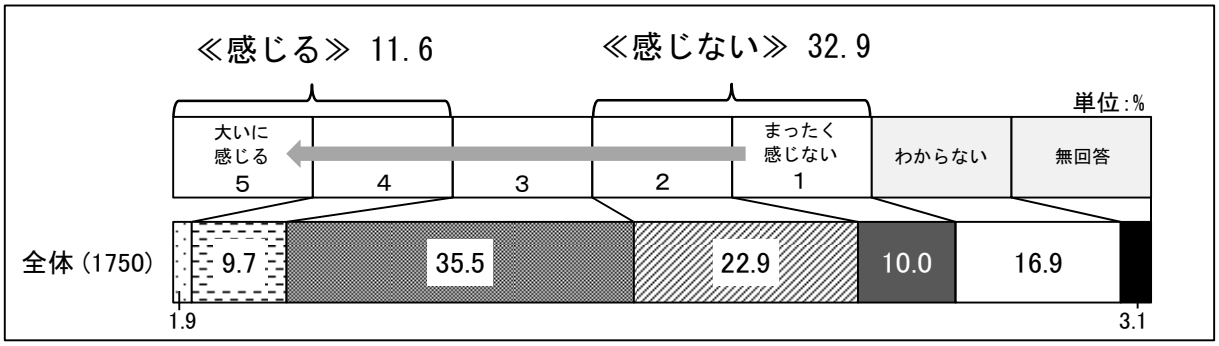
問９（５）お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？



お住まいの地域に頼れる人がいると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 42.5%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 21.1%を上回る。

（６）文化的寛容性

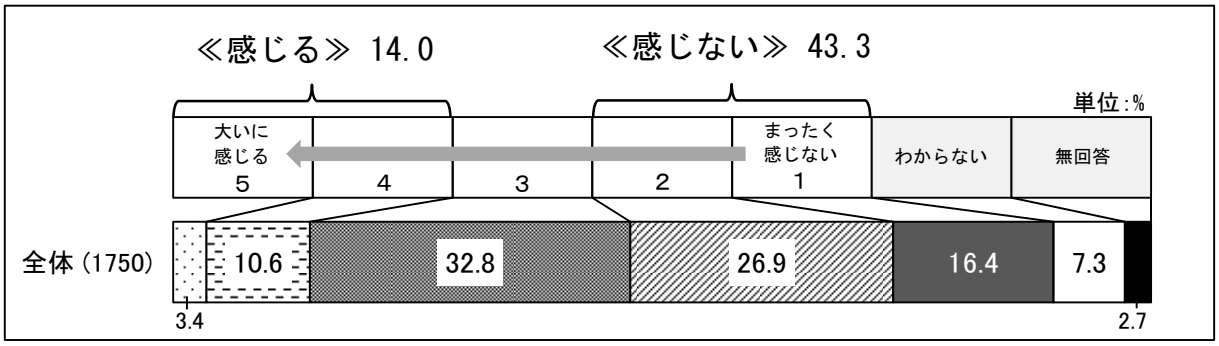
問９（６）お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？



お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 32.9%と約３割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 11.6%を上回る。

（７）充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感

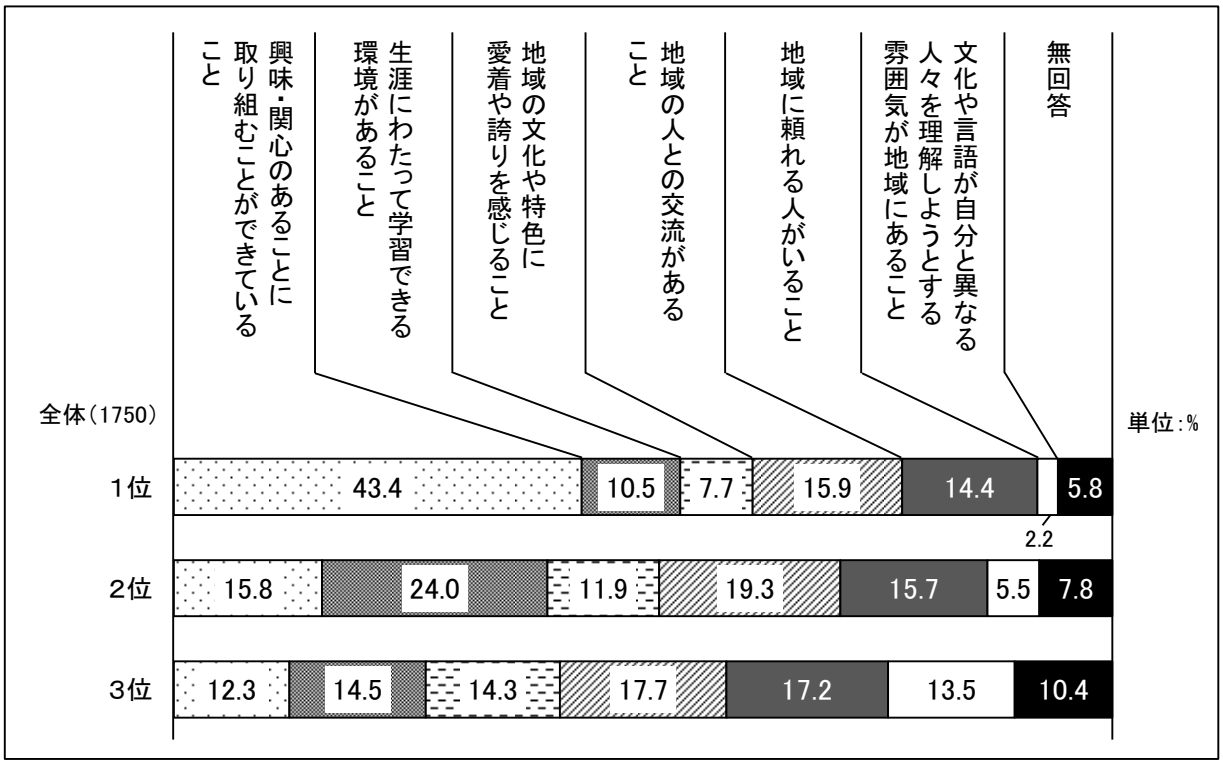
問９（７）充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？



充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 43.3％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 14.0％を上回る。

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの

問10　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。

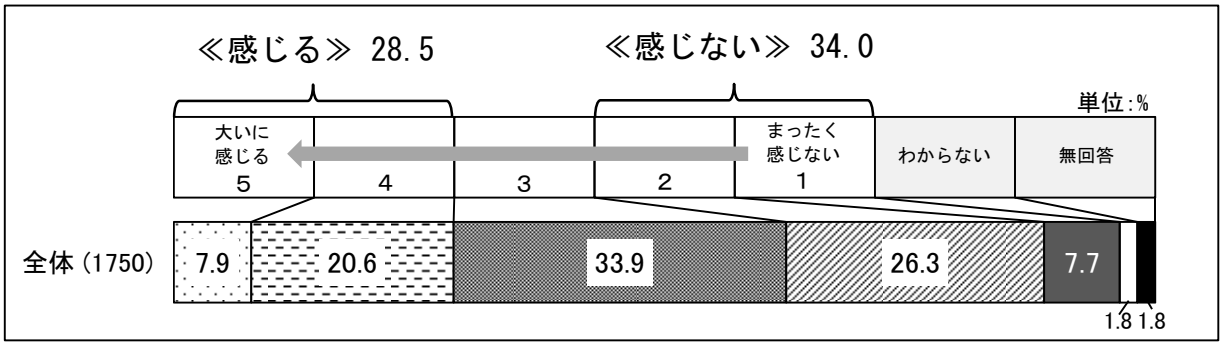


あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「興味・関心のあることに取り組むことができていること」が 43.4％で最も高く、次いで「地域の人との交流があること」（15.9％）が続く。また、第２位として選択した項目は「生涯にわたって学習できる環境があること」が 24.0％で最も高く、第３位として選択した項目は「地域の人との交流があること」が 17.7％で最も高い結果となった。

６．安全・安心

（１）防犯性

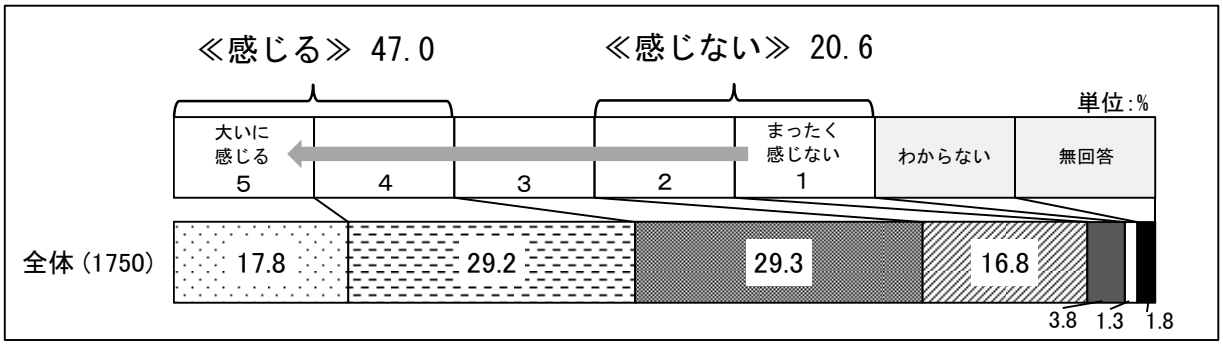
問11（１）お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？



お住まいの地域で、犯罪への不安を感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 34.0％と３割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 28.5％を上回る。

（２）交通安全性

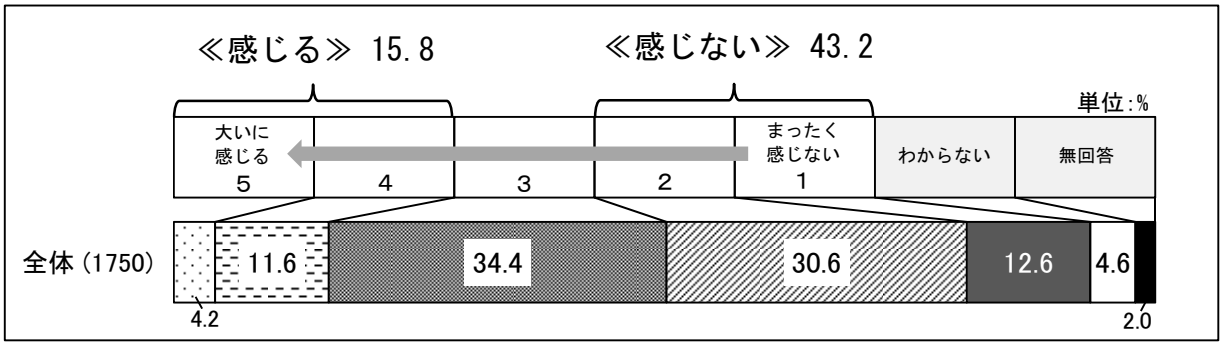
問11（２）お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？



お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 47.0％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 20.6％を上回る。

（３）生活安全性

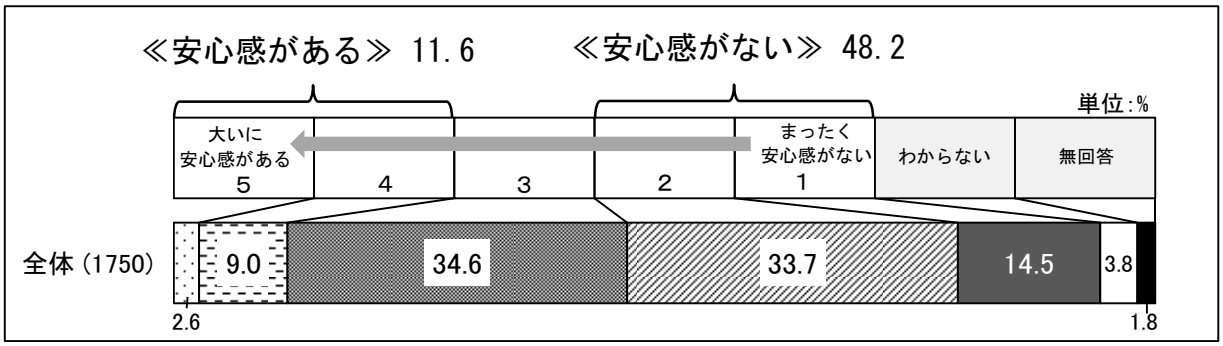
問11（３）家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？



家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 43.2％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 15.8％を上回る。

（４）個人の備え

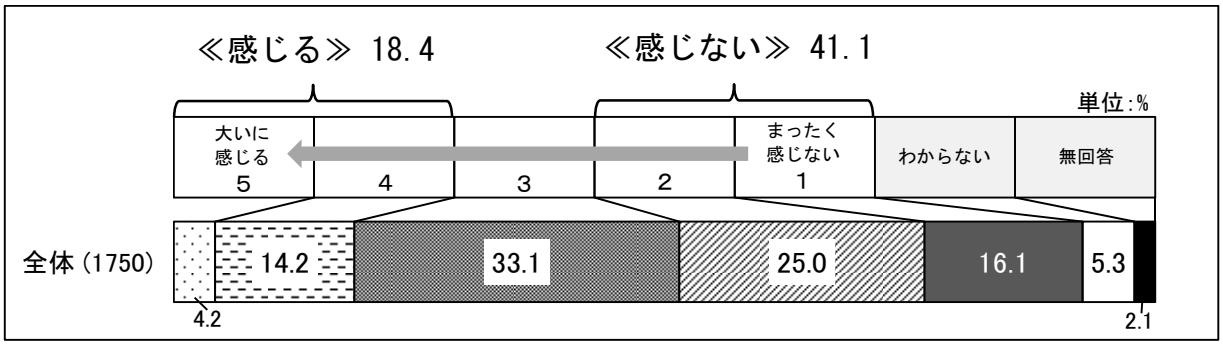
問11（４）災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？



災害に対する備えを十分にしている安心感があるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪安心感がない≫は 48.2％と約５割を占め、「５」と「４」を合わせた≪安心感がある≫の 11.6％を上回る。

（５）災害時の絆・助け合い

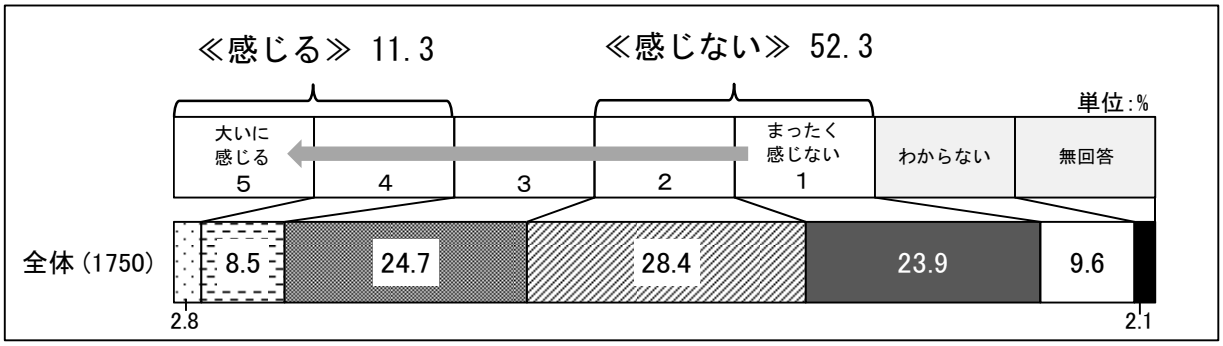
問11（５）災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？



災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 41.1％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 18.4％を上回る。

（６）防災性

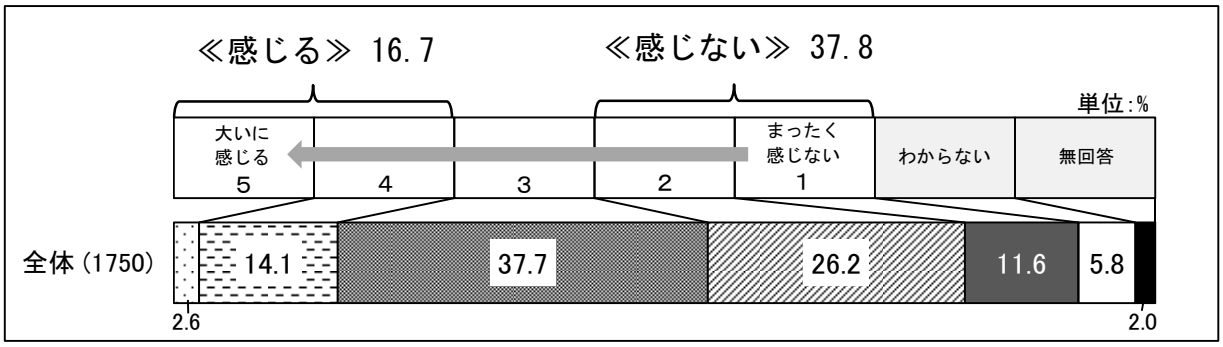
問11（６）お住まいの地域は災害に強いと感じますか？



お住まいの地域は災害に強いと感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 52.3％と約５割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 11.3％を上回る。

（７）安全・安心の実感

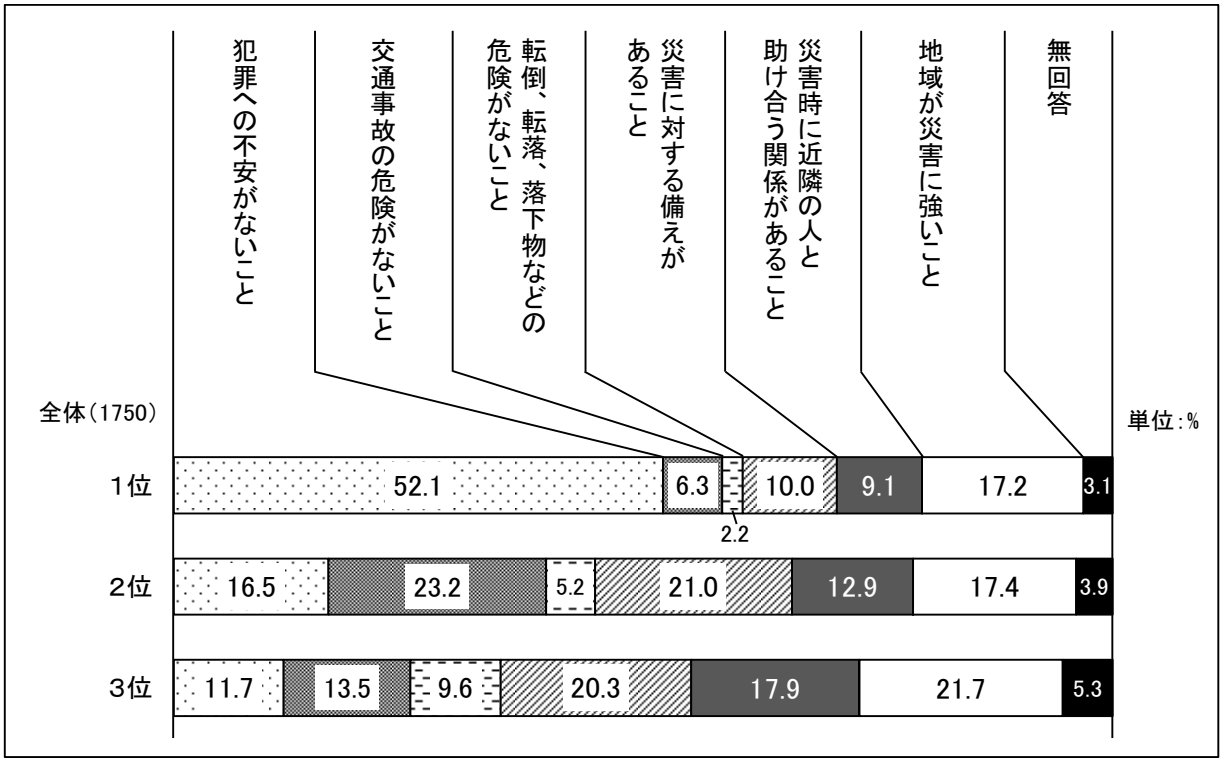
問11（７）お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？



お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫は 37.8％と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫の 16.7％を上回る。

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの

問12　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。



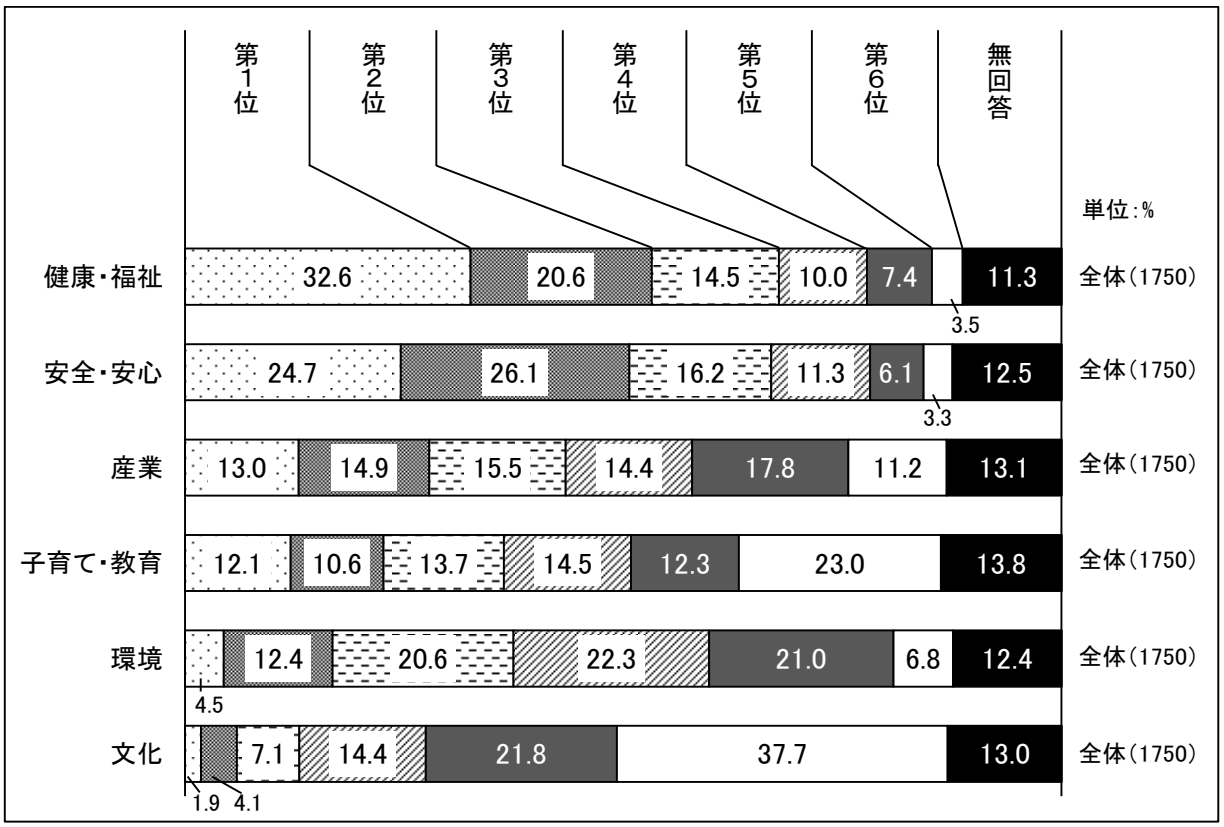
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「犯罪への不安がないこと」が 52.1％で最も高く、次いで「地域が災害に強いこと」（17.2％）が続く。また、第２位として選択した項目は「交通事故の危険がないこと」が 23.2％で最も高く、第３位として選択した項目は「地域が災害に強いこと」が 21.7％で最も高い結果となった。

７．総合

（１）６つの分野について幸せにとって重要だと思う順位

（健康・福祉、子育て・教育、産業、環境、文化、安全・安心の６分野について）

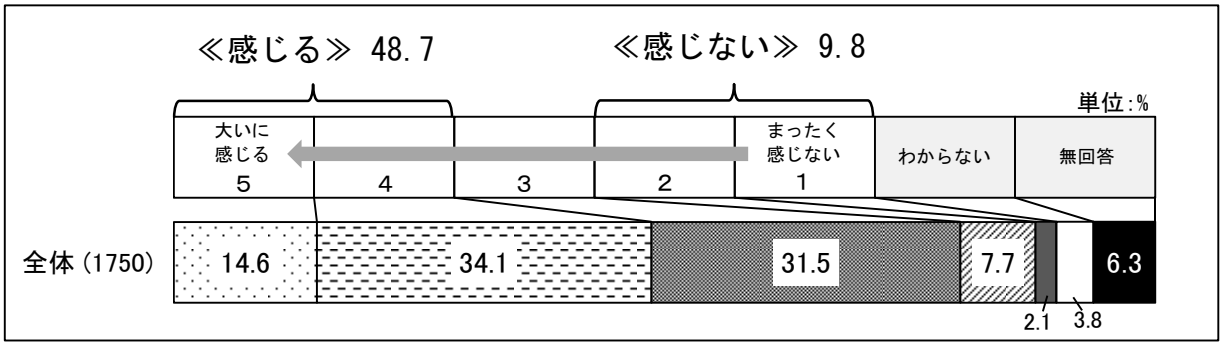
問13　６つの分野について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、順位（１～６位）を記入してください。



第１位で挙げられた分野で、最も割合が高かったのは「健康・福祉」で 32.6%となっている。次いで「安全・安心」(24.7%）が続き、以下、「産業」(13.0%)、「子育て・教育」(12.1%)、「環境」(4.5%)、「文化」(1.9%）の順となっている。

（２）幸福実感

問14　あなたは、幸せだと感じますか？

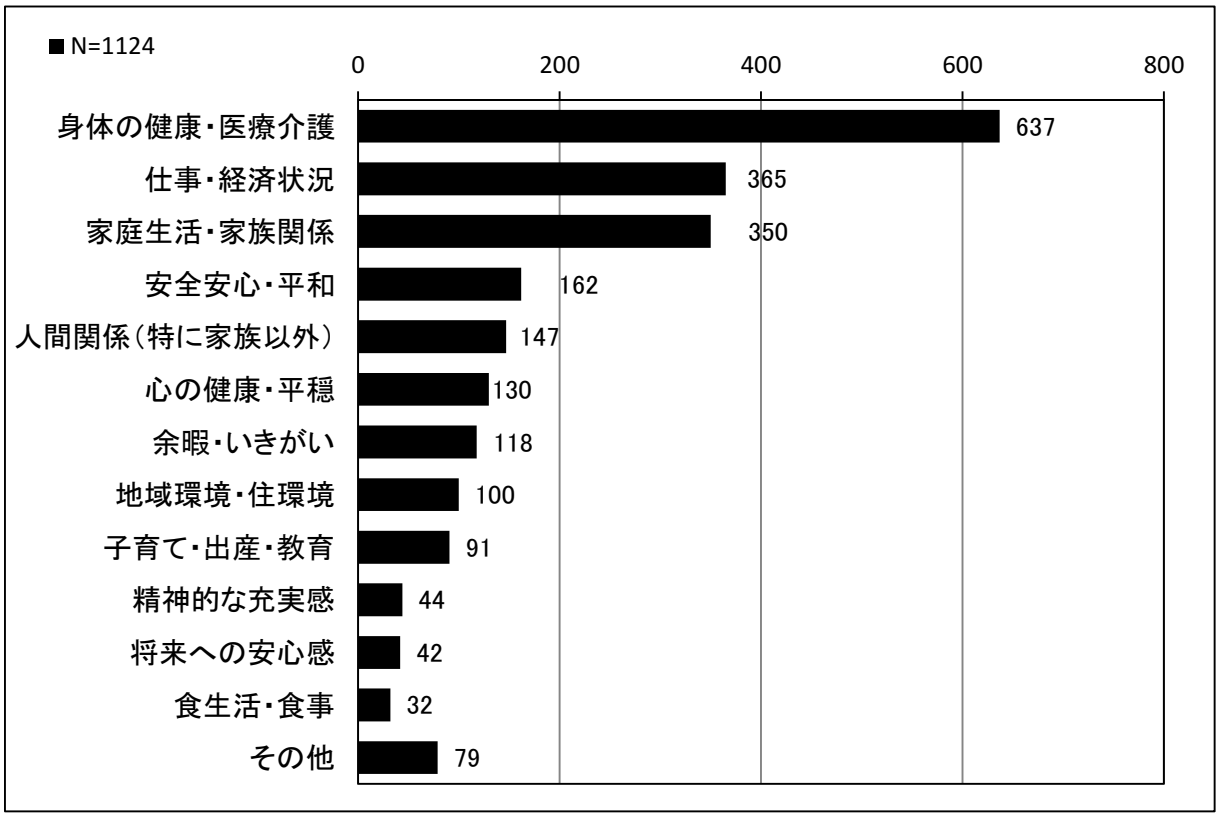


幸せだと感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた≪感じる≫は 48.7％と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた≪感じない≫の 9.8％を上回る。

８．自由記述

（１）幸せにとって重要だと思うこと

問15　あなたの幸せにとって重要だと思うことは何ですか？



問 15 への回答内容を 13 の分野（その他含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数カテゴリーにあてはまる場合があるため、回答数は 2,297 件（回答者は 1,124 人）であった。

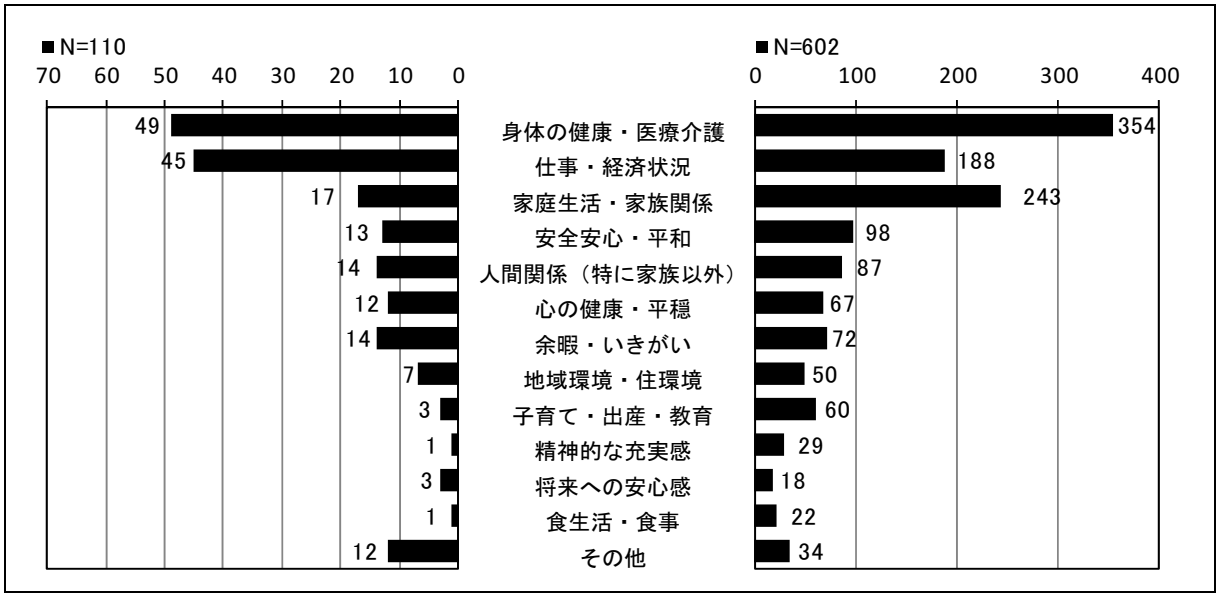
このうち「身体の健康・医療介護」に関する記述は 637 件であり、問 15 を回答した回答者の 56.7%を占めている。次いで、「仕事・経済状況」に関する記述が 365 件（32.5%）、「家庭生活・家族関係」に関する記述が 350 件（31.1%）となっている。

問 15「幸せにとって重要だと思うこと」の回答分類を、≪幸せだと感じない≫（問 14 で「１」または「２」と回答）と、≪幸せだと感じる≫（問 14 で「５」または「４」と回答）に分けて比べる。

≪幸せだと感じない≫の回答数は 191 件（回答者は 110 人）であった。
≪幸せだと感じる≫の回答数は 1,322 件（回答者は 602 人）であった。

幸せにとって重要だと思うこと　幸福実感別

≪幸せだと感じない≫　　≪幸せだと感じる≫

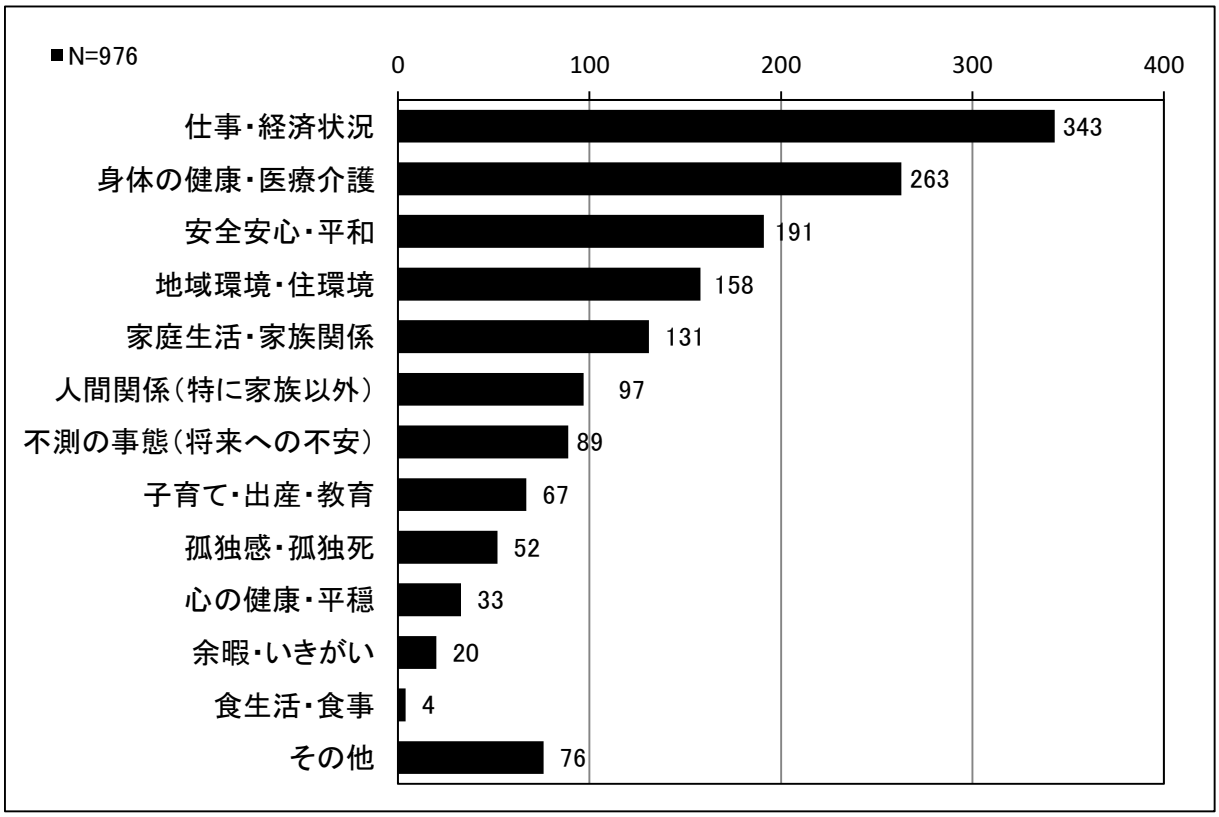


≪幸せだと感じない≫回答者のうち、「身体の健康・医療介護」に関する記述は 49 件（44.5%）となっている。次いで、「仕事・経済状況」に関する記述が 45 件（40.9%）、「家庭生活・家族関係」に関する記述が 17 件（15.5%）となっている。

≪幸せだと感じる≫回答者のうち、「身体の健康・医療介護」に関する記述は 354 件（58.8%）となっている。次いで、「家庭生活・家族関係」に関する記述が 243 件（40.4%）、「仕事・経済状況」に関する記述が 188 件（31.2%）となっている。

（２）不幸・不安だと感じること

問16　あなたにとって不幸だと感じることや、生活をしていくうえで不安だと感じることは何ですか？



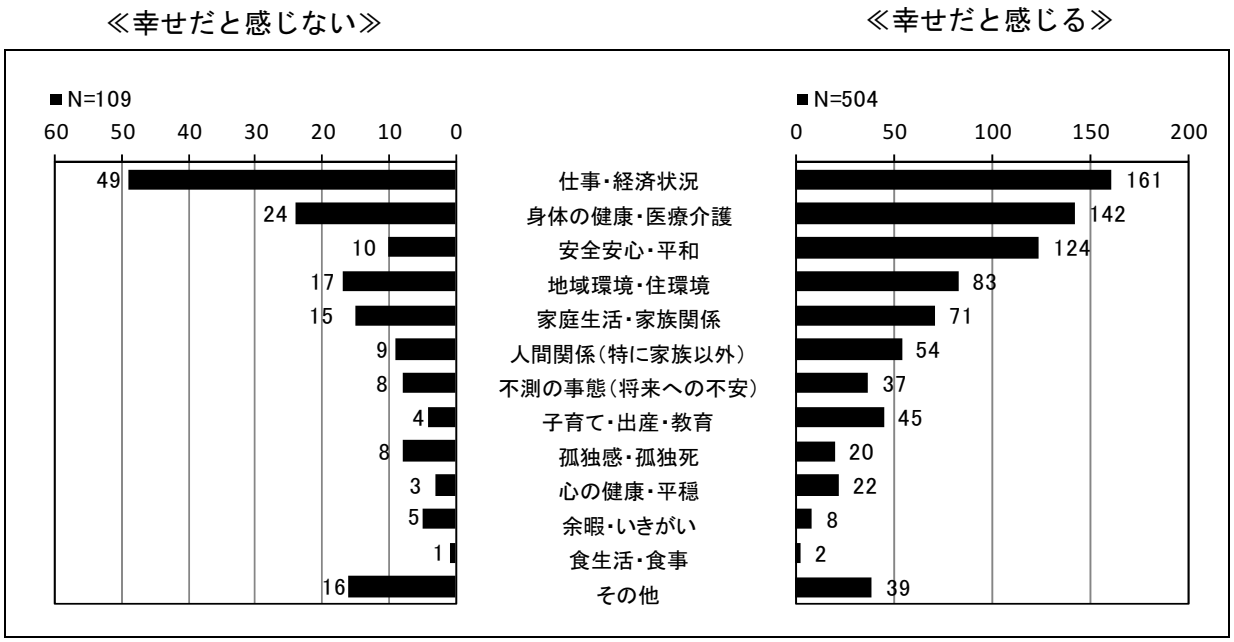
問 16 への回答内容を 13 の分野（その他含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数の分野にあてはまる場合があるため、回答数は 1,524 件（回答者は 976 人）であった。

このうち「仕事・経済状況」に関する記述は 343 件であり、問 16 を回答した回答者の 35.1%を占めている。次いで、「身体の健康・医療介護」に関する記述が 263 件（26.9%）、「安全安心・平和」に関する記述が 191 件（19.6%）となっている。

問 16「不幸・不安だと感じること」の回答分類を、≪幸せだと感じない≫（問 14 で「１」または「２」と回答）と、≪幸せだと感じる≫（問 14 で「５」または「４」と回答）に分けて比べる。

≪幸せだと感じない≫の回答数は 169 件（回答者は 109 人）であった。
≪幸せだと感じる≫の回答数は 808 件（回答者は 504 人）であった。

不幸・不安だと感じること　幸福実感別

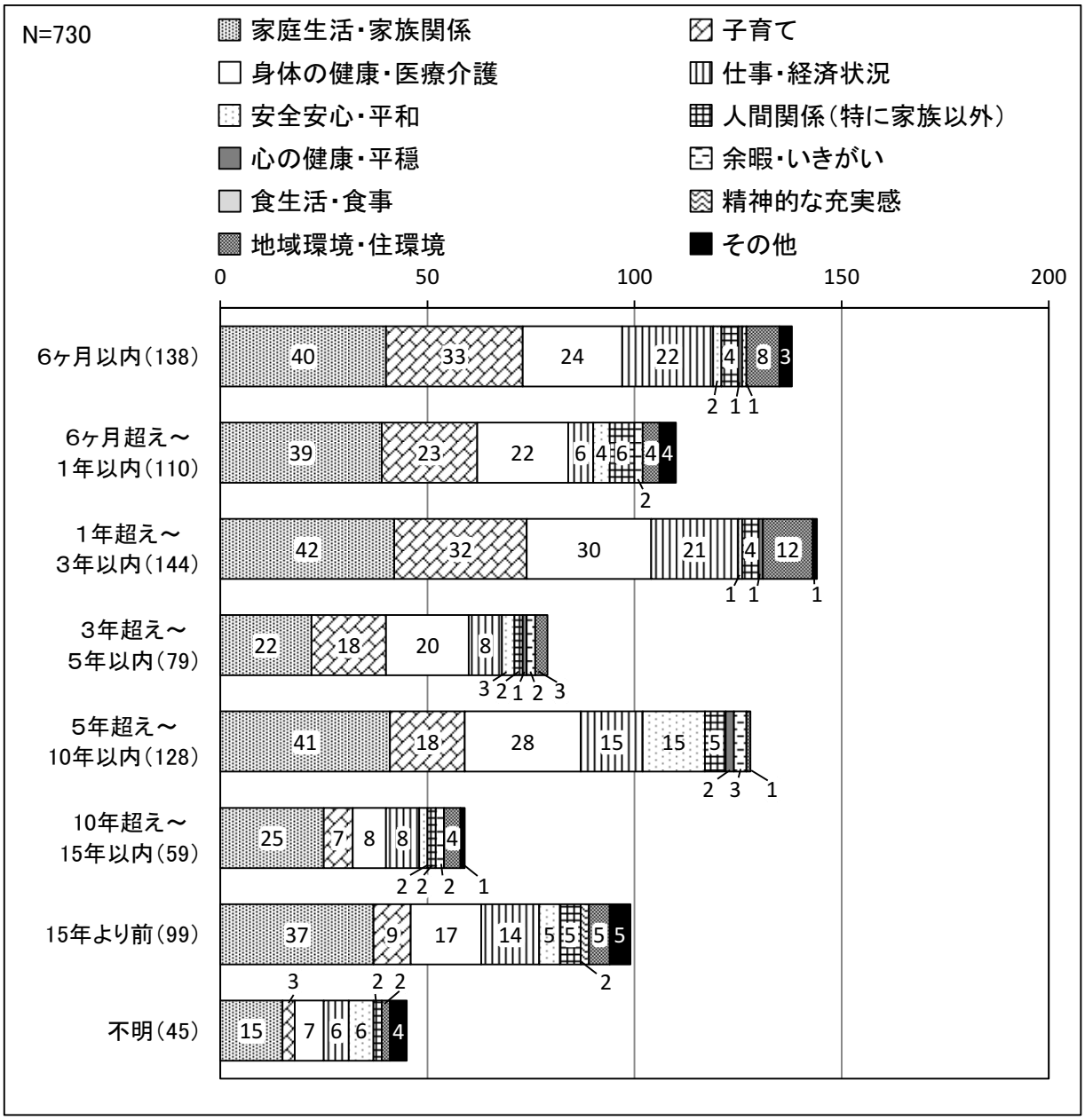


≪幸せだと感じない≫回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は 49 件（45.0%）となっている。次いで、「身体の健康・医療介護」に関する記述が 24 件（22.0%）、「地域環境・住環境」に関する記述が 17 件（15.6%）となっている。

≪幸せだと感じる≫回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は 161 件（31.9%）となっている。次いで、「身体の健康・医療介護」に関する記述が 142 件（28.2%）、「安全安心・平和」に関する記述が 124 件（24.6%）となっている。

（３）人生に影響を与えるような出来事

問17　現在のあなたの人生に影響を与えるような出来事は、いつ起きましたか？どのような出来事がありましたか？それによってどう感じましたか？

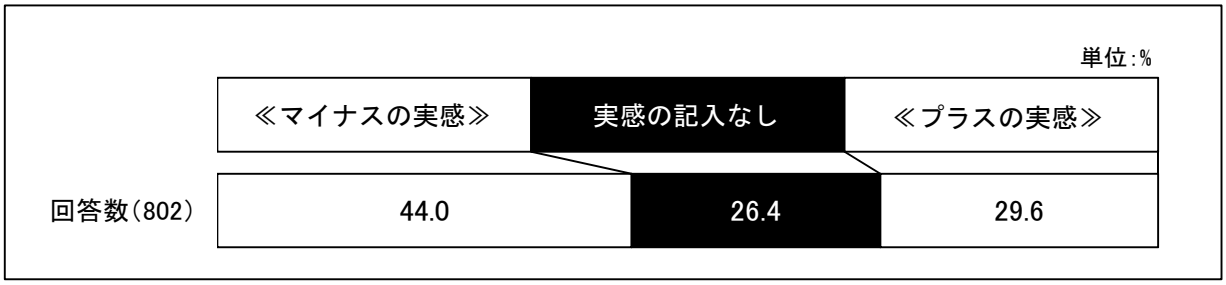


現在の人生に影響を与えるような出来事について、その内容を 12 の分野（その他を含む）に、出来事が起こった時期を７時期に分類して集計を行った。出来事の内容によっては複数の分野にあてはまる場合があるため、回答数は 802 件（回答者は 730 人）であった。

このうち、時期は「１年越え～３年以内」の出来事が 144 件と最も多く、回答者の 19.7%を占めている。次いで「６ヶ月以内」の出来事が 138 件（18.9%）と多くなっている。内容については、「家庭生活・家族関係」に関することが 261 件（35.8%）と最も多く、次いで「身体の健康・医療介護」に関することが 156 件（21.4%）と多くなっている。

「その出来事によってどう感じましたか」と尋ねたところ、「悲しかった」「怖くなった」「不安を感じた」などネガティブに感じたと回答した≪マイナスの実感≫が 44.0%（回答数 353 件・回答者 326 人）となっており、「嬉しかった」「楽しかった」「安心した」などポジティブに感じたと回答した≪プラスの実感≫の 29.6%（回答数 237 件、回答者 211 人）を上回っている。なお、実感がプラス、マイナスのどちらにも含まれない回答や両方の実感が含まれる回答については、「実感の記入なし」とした。

人生に影響を与えるような出来事（実感別／回答数の割合）



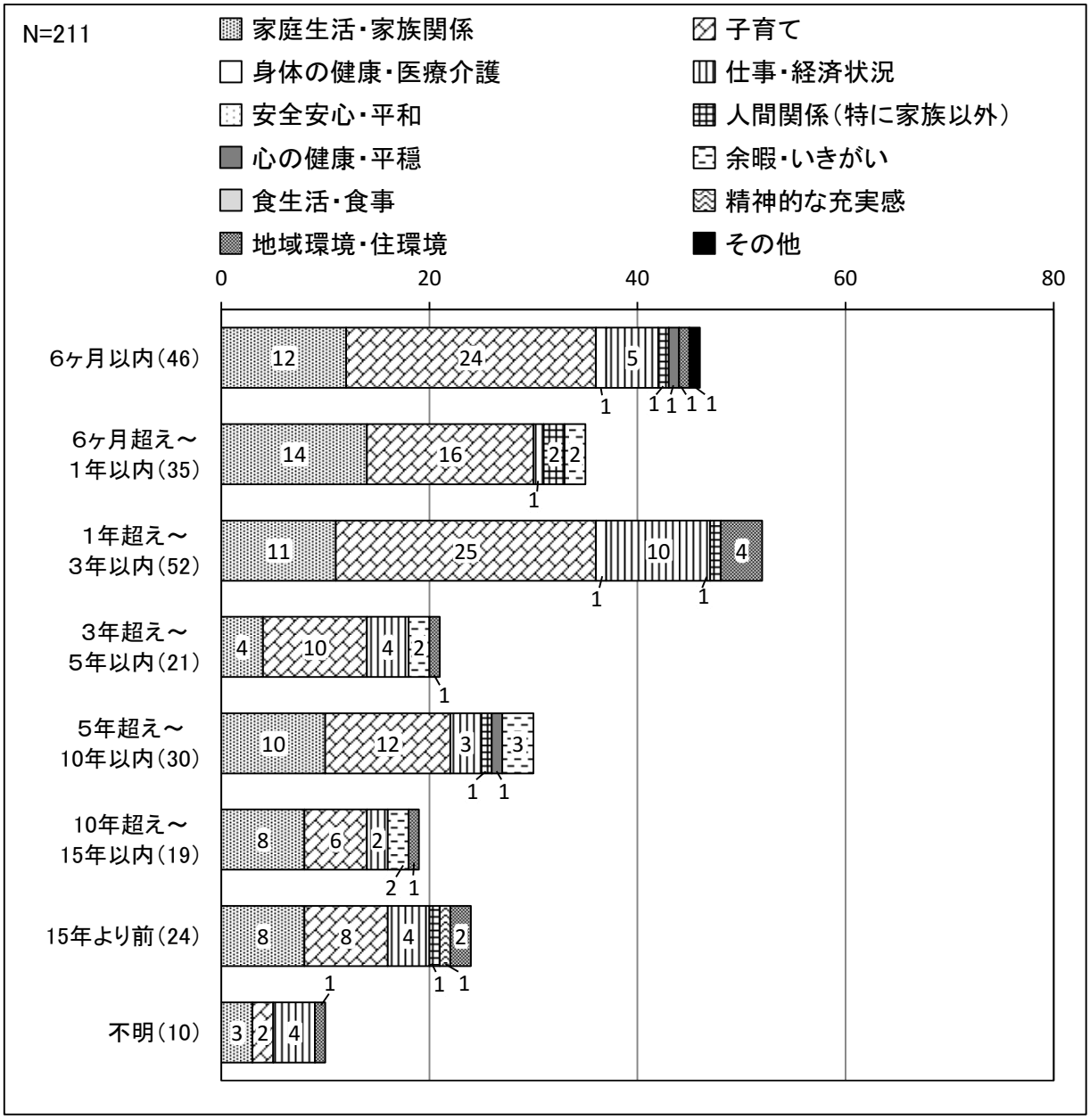
人生に影響を与えるような出来事（実感別×出来事／回答数、回答率）

実感＼出来事		家庭生活・家族関係	子育て	身体の健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	人間関係（特に家族以外）	心の健康・平穏	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	地域環境・住環境	その他
プラスの実感	回答数	70	103	2	33	0	6	2	9	0	1	10	1
	回答率	29.5%	43.5%	0.8%	13.9%	0.0%	2.5%	0.8%	3.8%	0.0%	0.4%	4.2%	0.4%
マイナスの実感	回答数	123	12	109	44	25	15	3	0	0	1	16	5
	回答率	34.8%	3.4%	30.9%	12.5%	7.1%	4.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	4.5%	1.4%
実感なし	回答数	68	28	45	23	13	9	0	1	0	0	13	12
	回答率	32.1%	13.2%	21.2%	10.8%	6.1%	4.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	6.1%	5.7%
全体	回答数	261	143	156	100	38	30	5	10	0	2	39	18
	回答率	32.5%	17.8%	19.5%	12.5%	4.7%	3.7%	0.6%	1.2%	0.0%	0.2%	4.9%	2.2%

出来事の内容を≪プラスの実感≫と≪マイナスの実感≫に分けて比べる。

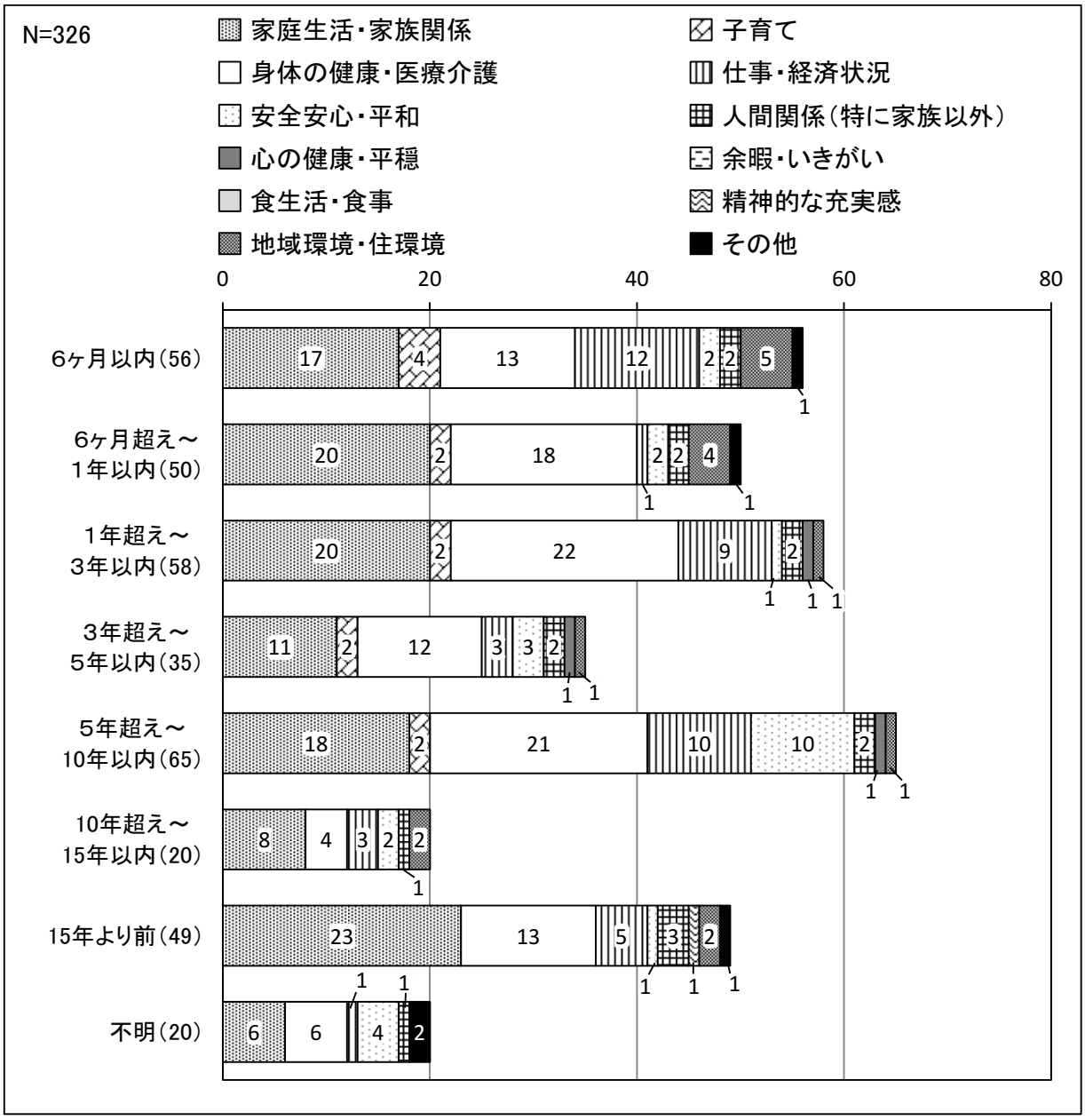
≪プラスの実感≫を得た出来事（回答数 237 件・回答者 211 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「１年越え～３年以内」が 52 件（回答数の 21.9%）と多く、内容については「子育て」に関することが 87 件（回答数の 36.7%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事≪プラスの実感≫



≪マイナスの実感≫を得た出来事（回答数 353 件・回答者 326 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「５年越え～10 年以内」が 65 件（回答数の 18.4%）と多く、内容については「家庭生活・家族関係」に関することが 111 件（回答数の 34.0%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事≪マイナスの実感≫



平成２９年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査ご協力のお願い

皆様におかれましては、日頃から区政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

荒川区では、だれもが幸せを実感できるまち「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピネス：ＧＡＨ）に取り組んでいます。荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）とは、区民の皆様がどれだけ幸せを感じているかを測る指標を作成し、それを測定、分析することで、区民の皆様の幸福実感が向上するような、より良い区政運営につなげていくものです。

平成 25 年度からは、区民の皆様が日々の生活のなかで感じていることや地域について実感していることなどを伺わせていただき、区における施策の充実等につなげていこうとする「荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）に関する区民アンケート調査」を実施しており、今回はその 5 回目の調査となります。これまでの調査の結果は、荒川区ホームページ内で公表しています（http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/chosa/GAH_Q.html）。

本調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した 4,000 名の方に調査票を郵送して行っております。大変お手数をおかけいたしますが、調査結果は区民サービス向上のための貴重な資料となります。ぜひ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、調査は無記名で、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理するとともに、皆様のご意見などを本調査の目的以外に使用することや、その内容が外部に流出することは決してありませんのでご安心ください。

平成２９年９月

荒川区長　　西 川　太 一 郎

回答は、《郵送》または《インターネット（電子申請）》から行うことができます。

いずれかの方法で、**平成29年9月29日（金）までに**、返信してください。

❑ **郵送でご回答いただける場合**

同封した返信用封筒に調査票を入れて、郵便ポストにご投かんください。（切手は不要です）

❑ **インターネット（電子申請）でご回答いただける場合**　※詳細は 3 ページ以降をご覧ください。

次の①か②の方法で回答ページにアクセスしていただき、調査票の表紙に記載されている申請者ＩＤとパスワードを入力して、手順に沿って回答してください。

※インターネットでご回答いただける場合には、郵送での調査票の返信は不要です。

①荒川区ホームページ（http://www.city.arakawa.tokyo.jp/）にアクセスし、「電子サービス」⇒「電子申請」⇒「荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）に関する区民アンケート調査の回答はこちら」をクリックしてください。

②携帯電話の場合は、右記の QR コードを読み取り、アクセスしてください。

ＱＲコード⇒

担　当／荒川区 総務企画部 総務企画課　［受付時間/月～金　８：30～17：15］
電話　03-3802-3111　内線２１１８
委託先／株式会社アストジェイ　［受付時間/月～金　９：00～17：30］
電話　03-6262-9715　担当　木下、小渕

回答に当たってのお願い

① 回答は、ご本人様がご記入ください。ただし、諸事情により、ご本人様によるご記入が難しい場合には、代筆にてご記入いただくか、ご家族の方等がご自身の立場でお答えください。

② 郵送による回答の場合には、ご記入の際、濃い鉛筆か、黒又は青のボールペン･万年筆をお使いください。[インターネット(電子申請)からご回答いただける場合は、3 ページ以降をご覧ください]
※ボールペンを同封しておりますので、ご回答の際にお使いください(返却は不要です)。

③ 次の回答例に従ってお答えください。

■５段階で評価していただく質問の回答例

問□ 次の(1)から(2)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（**○はそれぞれ１つずつ**）

	まったく感じない → 大いに感じる					わからない
（１）体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ ※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含みます。	1	2	③	4	5	0
（２）健康的な食生活を送ることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	⓪

各設問に対し、あなたの感じ方の度合いに応じて、１から５までの数字どれか１つに○印を付けてください。１が「まったく感じない」、５が「大いに感じる」となります。
わからない場合は、０の「わからない」にのみ○印を付けてください。

■重要だと思う順に項目を選択していただく質問の回答例

問□ あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 [1] 第２位 [3] 第３位 [6]

選択項目
1 興味・関心のあることに取り組むことができていること
2 生涯にわたって学習できる環境があること
3 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること
4 地域の人との交流があること
5 地域に頼れる人がいること
6 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること

上記は、最も重要だと思う「１ 興味・関心のあることに取り組むことができていること」の番号を第１位の□に、２番目に重要だと思う「３ 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること」の番号を第２位の□に、３番目に重要だと思う「６ 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること」の番号を第３位の□に記入した例です。

■順位を付けていただく質問の回答例

問□　次の６つの分野（Ⅰ～Ⅵ）について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、記入欄に順位（１～６位）を記入してください。（番号はそれぞれ１つずつ）

分野	概要	記入欄（順位）
Ⅰ　健康・福祉	心や体の健康、健康を維持するための環境、福祉サービスなどについて	1
Ⅱ　子育て・教育	家庭における子育て、子どもの知識･技能や社会性等の成長、地域の子育て環境などについて	5
Ⅲ　産業	収入やワークライフバランス（仕事と生活の調和）、地域経済・まちの魅力などについて	3
Ⅳ　環境	バリアフリーの状況、交通の便、まちなみの良さ、快適さ、地球環境に配慮した生活などについて	4
Ⅴ　文化	余暇、生涯学習環境、地域文化への愛着や地域交流などについて	6
Ⅵ　安全・安心	犯罪・事故・災害に対する安全や安心などについて	2

上記は、「Ⅰ　健康・福祉」が最も重要で、２番目に「Ⅵ　安全・安心」、３番目に「Ⅲ　産業」、４番目に「Ⅳ　環境」、５番目に「Ⅱ　子育て・教育」、６番目に「Ⅴ　文化」を重要だと思っている場合の記入例です。

■回答を１つだけ選択していただく質問の回答例

問□　　あなたの年齢は次のうちどれですか。（○は１つだけ）

1	18・19 歳	2	20～24 歳	3	25～29 歳	4	30～34 歳
5	35～39 歳	(6)	40～44 歳	7	45～49 歳	8	50～54 歳
9	55～59 歳	10	60～64 歳	11	65～69 歳	12	70～74 歳
13	75～79 歳	14	80 歳以上				

例えば、年齢が４３歳の場合は、６に○印を付けてください。

インターネット（電子申請）での回答に関する注意事項

① 回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から当てはまるものを選択してください。
なお、「その他」を選ばれた場合は、「その他欄」にその内容を具体的にご記入ください。

② 質問に該当する方のみにご回答いただく質問もありますが、その場合は説明文に従ってお答えください。

③ 携帯電話・スマートフォン・パソコンのブラウザの「戻る」機能を使用すると、正常な回答ができないため、ご使用しないようお願いします。

④ セキュリティー確保のため、調査票画面を開いてから60分で調査画面への接続が切れる仕組みになっておりますので、時間内にご回答くださるようお願いします。

⑤ 全てのご回答が終わりましたら、「申請内容確認」ボタンを、ご確認が済みましたら「申請する」ボタンを選択してください。申請完了（到達番号・問い合わせ番号が表示される）の画面が表示されましたら、ご回答は終了です。

⑥ 平成２９年９月２９日（金）までにご回答を送信してください。
（インターネットでご回答いただける場合には、調査票の郵送による返信はご不要です）

⑦ インターネットへの接続料金は利用者様のご負担となります。

❑　調査画面へのアクセス方法

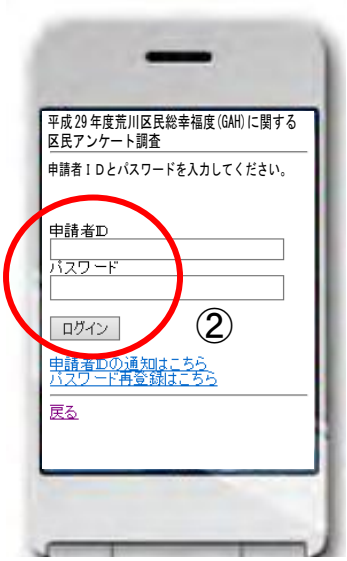
携帯電話の場合

ＱＲコード

① 右記の「ＱＲコード」を読み取ると、申請者ＩＤとパスワードを入力する画面が開きます。

「ＱＲコード」を読み取ることが出来ない場合は、荒川区携帯サイトにアクセスし(http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/)、「**荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）調査**」を選択してください。

② ログイン画面が表示されますので　調査票の表紙に記載されている**申請者ＩＤ**と**パスワード**を入力して、「**ログイン**」ボタンを選択してください。



③ 入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。
※ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないようお願いします。

④ **全ての回答が終わりましたら、**画面の下に表示される「**申請内容確認**」のボタンを選択してください。

⑤ 内容の確認が済みましたら、「**申請する**」ボタンを選択して、回答を送信してください。

申請完了の画面が表示されましたら、送信完了です。

パソコン・スマートフォンの場合

① 荒川区ホームページにアクセスしてください。
（http://www.city.arakawa.tokyo.jp/）

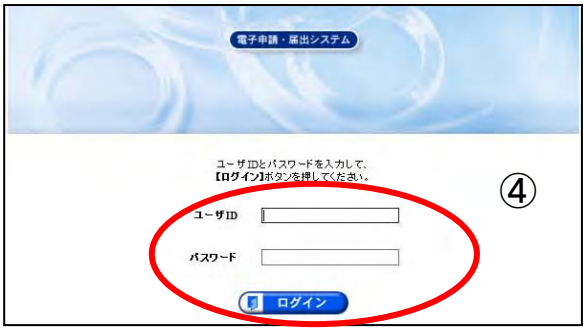
トップページの左下にある「**電子サービス**」から「**電子申請**」を選択してください。

② 「**荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）に関する区民アンケート調査の回答はこちら**」を選択してください。

※パソコン用、スマートフォン用のいずれかを選択してください。

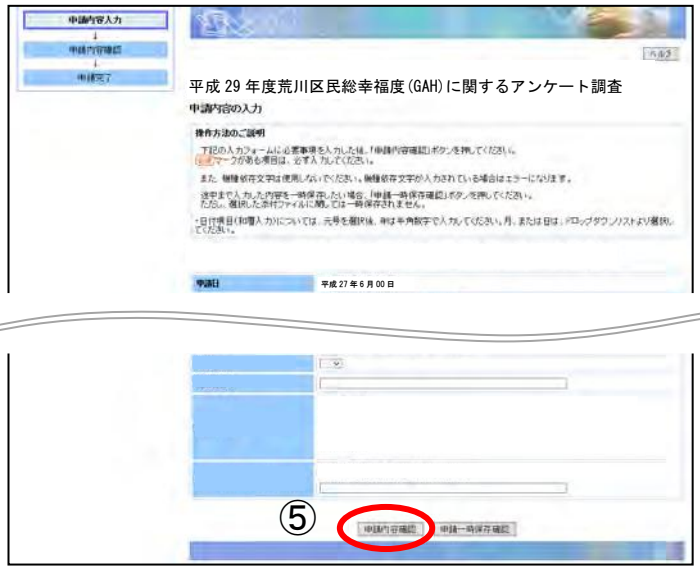
③ 電子申請画面が表示されますので、「**電子申請（画面入力）**」ボタンを選択してください。

④ ログイン画面が表示されますので、調査票の表紙に記載されている**ユーザ（申請者）ＩＤ**と**パスワード**を入力して「**ログイン**」ボタンを選択してください。

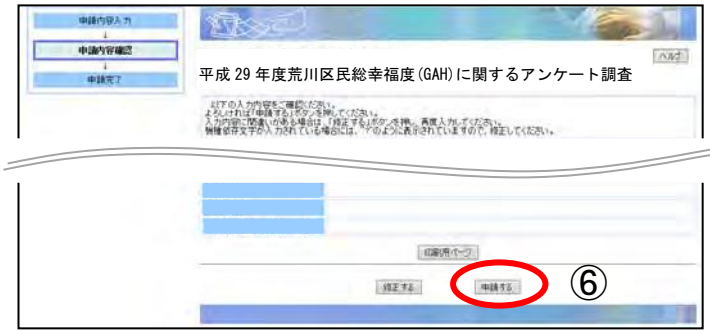


⑤ 入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。
※ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないようお願いします。

全ての回答が終わりましたら、
画面の下部に表示される「**申請内容確認**」ボタンを選択してください。



⑥ 入力確認画面が表示されますので、回答内容を確認し、「**申請する**」ボタンを選択してください。



申請完了の画面が表示されましたら、送信完了です。

ご協力お願いします

平成２９年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

調 査 票

平成２９年９月２９日（金）までにご返信をお願いします

■インターネット（電子申請）でご回答いただける場合には、以下の申請者ＩＤとパスワードを入力して、ご回答ください。

（すべて半角英数）

申請者ＩＤ

パスワード

※パスワードは、記号１文字と数字７文字（計８文字）です。

※この申請者ＩＤとパスワードは、インターネット（電子申請）により本調査の回答を行うためのものであり、どの回答者がどの申請者ＩＤを使用しているか特定することができないようになっています。そのため、ご回答いただいた内容について、個別回答はできませんので、ご了承ください。

回答は、基本的にはご本人様がご記入くださるようお願いいたします。ただし、諸事情により、ご本人様によるご記入が難しい場合には、代筆にてご記入いただくか、ご家族の方等がご自身の立場でお答えくださいますようお願いいたします。

Ⅰ　健康・福祉の分野についておたずねします

問１　次の（１）から（９）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない → 大いに感じる					わからない
（１）体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ ※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含みます。	１	２	３	４	５	０
（２）健康的な食生活を送ることができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（３）体を休めることができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（４）孤立感や孤独感を感じますか？	１	２	３	４	５	０
（５）家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（６）心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（７）お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（８）お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？ ※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の数や福祉サービスの質の充実などを指します。	１	２	３	４	５	０
（９）心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０

問２　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 □　　第２位 □　　第３位 □

選択項目

１　体を動かしたり運動したりできること
２　健康的な食生活を送れること
３　体を休めることができること
４　孤立感や孤独感がないこと
５　自分の役割があること
６　心が安らぐ時間を持てていること
７　医療機関（病院や薬局など）が地域に充実していること
８　高齢者や障がい者への福祉が地域に充実していること

次の質問にお進みください→

Ⅱ　子育て・教育の分野についておたずねします

18 歳未満のお子さん（同居・別居問わず）がいらっしゃる方は問３に、
いらっしゃらない方は問５（５ページ）にお進みください。

問３　次の（１）から（８）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない				大いに感じる	わからない
（１）お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか？	１	２	３	４	５	０
（２）お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？	１	２	３	４	５	０
（３）親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（４）あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？ ※ここでの家族には、配偶者、ご自身及び配偶者の親、親類などを含み、同居しているか否かは問いません。	１	２	３	４	５	０
（５）お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？	１	２	３	４	５	０
（６）お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（７）自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？ ※ここでの環境には、子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含みます。	１	２	３	４	５	０
（８）お子さんが健やかに成長していると感じますか？	１	２	３	４	５	０

（※問４は 18 歳未満のお子さんがいらっしゃる方のみ、お答えください。それ以外の方は問５（５ページ）にお進みください）

問４　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 [　　]　第２位 [　　]　第３位 [　　]

選択項目

１　子どもが規則正しい生活習慣を身に付けていること
２　子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること
３　親子のコミュニケーションがとれていること
４　子育てに関する家族の理解・協力があること
５　子育て･教育に関する事業･サービス･施設などが地域に充実していること
６　子育て家庭に対して理解・協力する雰囲気が地域にあること
７　自分が望む子育てができるような環境があること

次の質問にお進みください→

Ⅲ　産業の分野についておたずねします

問５　次の（１）から（７）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない → 大いに感じる					わからない
（１）生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？	１	２	３	４	５	０
（２）仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？ ※専業の主婦･主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。	１	２	３	４	５	０
（３）仕事に、やりがいや充実感を感じますか？ ※専業の主婦･主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。	１	２	３	４	５	０
（４）荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（５）お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？	１	２	３	４	５	０
（６）荒川区は、区外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか？	１	２	３	４	５	０
（７）経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０

問６　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 □　　第２位 □　　第３位 □

選択項目

１　生活を送るために必要な収入があること
２　仕事と生活とのバランスが取れていること
３　仕事にやりがいや充実感があること
４　まちの企業（お店や町工場など）が元気で活力があること
５　地域での買い物が便利なこと
６　まちに区外から人が訪れたくなる魅力があること

Ⅳ　環境の分野についておたずねします

問７　次の（１）から（７）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない				大いに感じる	わからない
（１）お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？ ※バリアフリーとは、障がい者や高齢者が生活をする上で支障がないよう、建物の段差等を解消することを指します。	１	２	３	４	５	０
（２）お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（３）お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？ ※ここでの交通には、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含みます。	１	２	３	４	５	０
（４）お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？	１	２	３	４	５	０
（５）お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？ ※ここでの不快さには、放置自転車、ポイ捨てなどを含みます。	１	２	３	４	５	０
（６）あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？	１	２	３	４	５	０
（７）お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？	１	２	３	４	５	０

問８　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 □　　第２位 □　　第３位 □

選択項目

１　地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと
２　困った人に声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気が地域にあること
３　地域の交通の便が良いこと
４　地域のまちなみ（景観・緑など）が良いこと
５　地域に放置自転車やポイ捨てなどによる不快さがないこと
６　節電やごみの減量など地球環境に配慮した生活をすること

Ⅴ　文化の分野についておたずねします

問９　次の（１）から（７）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない				大いに感じる	わからない
（１）興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（２）生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？ ※生涯にわたって学習できる環境とは、図書館や学習施設、スポーツ施設など、だれもが利用できる施設が整備され、学びやスポーツなどができるような環境のことを指します。	１	２	３	４	５	０
（３）荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	１	２	３	４	５	０
（４）お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（５）お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（６）お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（７）充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？	１	２	３	４	５	０

問１０　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 □　第２位 □　第３位 □

選択項目

１　興味・関心のあることに取り組むことができていること
２　生涯にわたって学習できる環境があること
３　地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること
４　地域の人との交流があること
５　地域に頼れる人がいること
６　文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること

Ⅵ　安全･安心の分野についておたずねします

問１１　次の（１）から（７）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	まったく感じない → 大いに感じる					わからない
（１）お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？	１	２	３	４	５	０
（２）お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？	１	２	３	４	５	０
（３）家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？	１	２	３	４	５	０
（４）災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？	１	２	３	４	５	０
（５）災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？	１	２	３	４	５	０
（６）お住まいの地域は災害に強いと感じますか？	１	２	３	４	５	０
（７）お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？	１	２	３	４	５	０

問１２　あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
（番号はそれぞれ１つずつ）

第１位 □　第２位 □　第３位 □

選択項目

１　犯罪への不安がないこと
２　交通事故の危険がないこと
３　転倒・転落・落下物などの危険がないこと
４　災害に対する備えがあること
５　災害時に近隣の人と助け合う関係があること
６　地域が災害に強いこと

Ⅰ～Ⅵすべての分野についておたずねします

問１３　次の６つの分野（Ⅰ～Ⅵ）について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、記入欄に順位（１～６位）を記入してください。（番号はそれぞれ１つずつ）

分野	概要	記入欄
Ⅰ 健康・福祉	心や体の健康、健康を維持するための環境、福祉サービスなどについて	
Ⅱ 子育て・教育	家庭における子育て、子どもの知識･技能や社会性等の成長、地域の子育て環境などについて	
Ⅲ 産業	収入やワークライフバランス（仕事と生活の調和）、地域経済・まちの魅力などについて	
Ⅳ 環境	バリアフリーの状況、交通の便、まちなみの良さ、快適さ、地球環境に配慮した生活などについて	
Ⅴ 文化	余暇、生涯学習環境、地域文化への愛着や地域交流などについて	
Ⅵ 安全・安心	犯罪・事故・災害に対する安全や安心などについて	

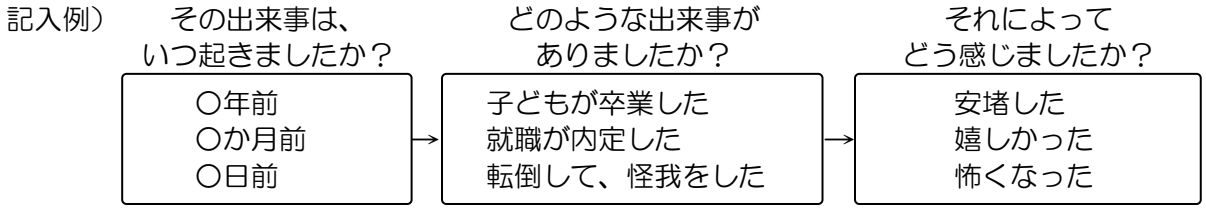
問１４　あなたは、幸せだと感じますか？あなたの実感に最も近いもの１つに○を付けてください。（○は１つだけ）

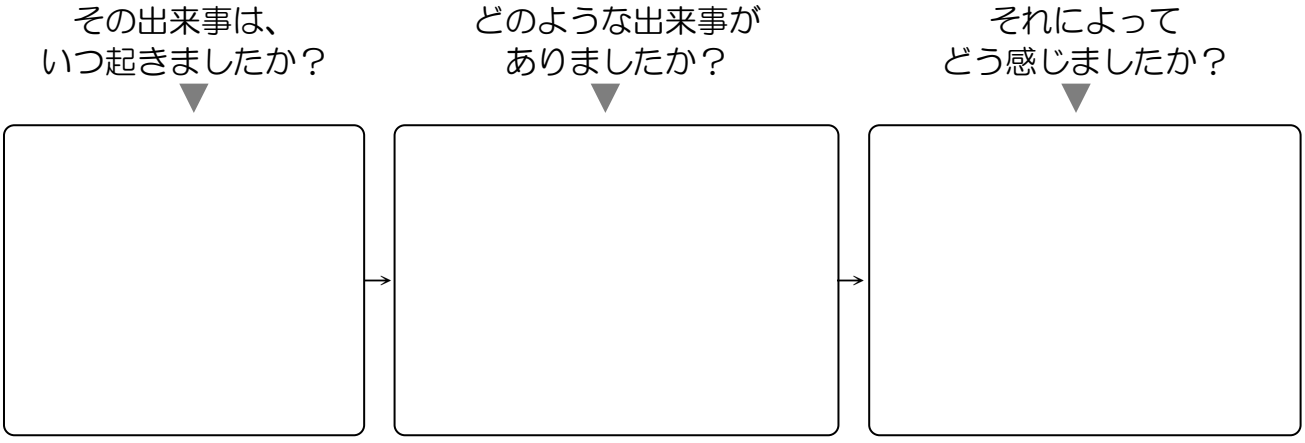
まったく感じない				大いに感じる	わからない
1	2	3	4	5	0

問１５　あなたの幸せにとって重要だと思うことは何ですか？次の欄に自由にご記入ください。

問１６　あなたにとって不幸だと感じることや、生活をしていく上で不安だと感じることがありましたら、次の欄に自由にご記入ください。

問１７　現在のあなたの人生に影響を与えるような出来事があった方は、次の欄に自由にご記入ください。





あなたご自身についてお答えください

最後に、お答えいただいた「あなた」ご自身のことについておたずねします。
これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、ぜひ、ご記入ください。

問１８　あなたの性別を教えてください。（○は１つだけ）

１　男性　　２　女性

問１９　あなたの年齢は次のうちどれですか。（○は１つだけ）

１　18・19 歳　２　20～24 歳　３　25～29 歳　４　30～34 歳
５　35～39 歳　６　40～44 歳　７　45～49 歳　８　50～54 歳
９　55～59 歳　10　60～64 歳　11　65～69 歳　12　70～74 歳
13　75～79 歳　14　80 歳以上

問２０　あなたが現在お住まいの地域はどこですか。（○は１つだけ・[　]内に丁目を記入）

１　南千住[　　]丁目　２　荒川[　　]丁目　３　町屋[　　]丁目
４　東尾久[　　]丁目　５　西尾久[　　]丁目　６　東日暮里[　　]丁目
７　西日暮里[　　]丁目

問２１　あなたが荒川区にお住まいになって通算何年になりますか。（○は１つだけ）

１　１年未満　２　1～2 年　３　3～4 年　４　5～9 年
５　10～14 年　６　15～19 年　７　20 年以上

問２２　あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

１　持ち家（一戸建て）　２　持ち家（集合住宅）
３　借家（一戸建て）　４　借家（集合住宅）
５　寮・社宅　６　その他（　　）

問２３　あなたのご職業は次のうちどれですか。（○は１つだけ）
※複数の職がある場合は、主となるほうを選択してください。

１　自営業主 ※1
２　正規の職員、従業員
３　会社などの役員
４　労働者派遣事業所の派遣社員 ※2
５　家族従業者 ※3
６　パート、アルバイトなど ※4
（２、４、６：雇われている人）
７　学生
８　専業主婦、専業主夫
９　無職
10　その他（　　）

※1　自営業主とは、個人で事業を経営している人（農業などを含む）や自由業の人を指します。
※2　労働者派遣事業所の派遣社員とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人を指します。
※3　家族従事者とは、商店など自営業主の家族で、その自営業に従事している人を指します。
※4　パート、アルバイトなどには、契約社員、嘱託、非常勤職員なども含みます。

問２４　問２３で１～６とご回答された方におたずねします。
あなたが就業されている日の一日あたりの平均的な就業時間（休憩時間は除き、残業時間は含む）は、次のうちのどれですか。（○は１つだけ）
※複数の職がある場合は、合算した就業時間でお答えください。

１　４時間未満
２　４～５時間
３　６～７時間
４　８～９時間
５　10～11 時間
６　12 時間以上

問２５　問２３で「９ 無職」とご回答された方におたずねします。
現在の状況は次のどれに当たりますか。（○は１つだけ）

１　仕事を探している
２　仕事を探していない
３　その他（　　）

問２６　あなたに配偶者はいらっしゃいますか。（○は１つだけ）

１　現在、配偶者がいる（届出の有無に関わらず、お答えください）→問２７にお進みください
２　結婚していたが、離婚･死別等で現在は配偶者がいない　→問２８にお進みください
３　結婚したことはない　→問２８にお進みください

問２７　配偶者がいらっしゃる方におたずねします。
あなたの配偶者のご職業は次のうちどれですか。（○は１つだけ）
※複数の職がある場合は、主となるほうを選択してください。

１　自営業主 ※1
２　正規の職員、従業員
３　会社などの役員
４　労働者派遣事業所の派遣社員 ※2
５　家族従業者 ※3
６　パート、アルバイトなど ※4
（２、４、６：雇われている人）
７　学生
８　専業主婦、専業主夫
９　無職
１０　その他（　　）

※1　自営業主とは、個人で事業を経営している人（農業などを含む）や自由業の人を指します。
※2　労働者派遣事業所の派遣社員とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人を指します。
※3　家族従事者とは、商店など自営業主の家族で、その自営業に従事している人を指します。
※4　パート、アルバイトなどには、契約社員、嘱託、非常勤職員なども含みます。

問２８　あなたの世帯全体の年間収入は、ボーナスを含めておよそどのくらいですか。
（○は１つだけ）※社会保険料や所得税などを含めてお答えください。

１　100 万円未満
２　100 万円以上 200 万円未満
３　200 万円以上 400 万円未満
４　400 万円以上 600 万円未満
５　600 万円以上 800 万円未満
６　800 万円以上 1,000 万円未満
７　1,000 万円以上

問２９　あなたの家族構成は次のうちどれにあたりますか。（○は１つだけ）
※同居の状況についてお答えください。

１　一人暮らし
２　夫婦のみ
３　親・子（二世代家族）
４　親・子・孫（三世代家族）
５　その他（　　）

問３０　お子さんがいらっしゃる方におたずねします。
お子さんの年齢について、当てはまるものをすべて選んでください。
※例えば、0 歳と 2 歳のお子さんがいらっしゃる場合は「1」、1 歳と 6 歳のお子さんがいらっしゃる場合は「1」と「3」を選択してください。同居･別居に関わらずお答えください。

１　0～2 歳
２　3～5 歳
３　6～8 歳
４　9～11 歳
５　12～14 歳
６　15～17 歳
７　18～19 歳
８　20 歳以上

問３１　外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、外国籍の方は次の欄に○をお付けいただきますようお願いします。

問３２　外国籍の方におたずねします。
日本にお住まいになって通算何年になりますか。

１　１年未満　　２　1～2年　　３　3～4年

４　5～9年　　５　10年以上

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

以下のいずれかの方法で、**平成29年9月29日(金)までに**、返信してください。

❑ **郵送でご回答いただける場合**

同封した返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投かんください。(切手は不要です)
黄色の冊子は返信不要です。

❑ **インターネット（電子申請）でご回答いただける場合**

次の①か②の方法で回答ページにアクセスしていただき、この調査票の表紙に記載されている申請者ＩＤとパスワードを入力して、手順に沿って回答してください。
※インターネットで回答いただける場合には、郵送での調査票の返信は不要です。

①荒川区ホームページ(http://www.city.arakawa.tokyo.jp/)にアクセスし、「電子サービス」⇒「電子申請」⇒「荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査の回答はこちら」をクリックしてください。

②携帯電話の場合は、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。

ＱＲコード⇒

ご協力ありがとうございました

平成２９年度　荒川区総幸福度調査（ＧＡＨ）に関する区民アンケート調査
《 集計結果 》
２０１８年（平成３０年）３月発行
登録番号（２９）００９８

発行：荒川区　総務企画部　総務企画課
東京都荒川区荒川２－２－３
電話　03-3802-3111（代表）